



K6724
v 99

高崎藩上臈内

員 議



君 清藤須



君 郎太久水清



君 郎次仙井櫻



君 吉元方保十



君 吉與邊清



君 吉龜岸



君 省山松



君 郎吉繁林小

高崎商業會議所議員



君心清藤須



君郎太久水清



君郎三保上井



君郎次政山嶺



君郎次幸谷住



君吉廣井駒



君郎次仙井櫻



君吉元方保十



君吉興邊渡



君平庄合落



君七清口樋



君作信本栗



君吉濱水清



君吉龜岸



君省山松



君藏慶島中



君助之勘木青



君郎四永田寺



君郎次彦橋板小



君郎吉繁林小

高崎商業會議所

常務委員

庶務部長

常務委員



關口忠三君



福田太一郎君



藤川平君 會頭



書記長代理

反町懷哉君



會計部長

小島彌平君

常務委員



須藤定吉君



橫山文四郎君



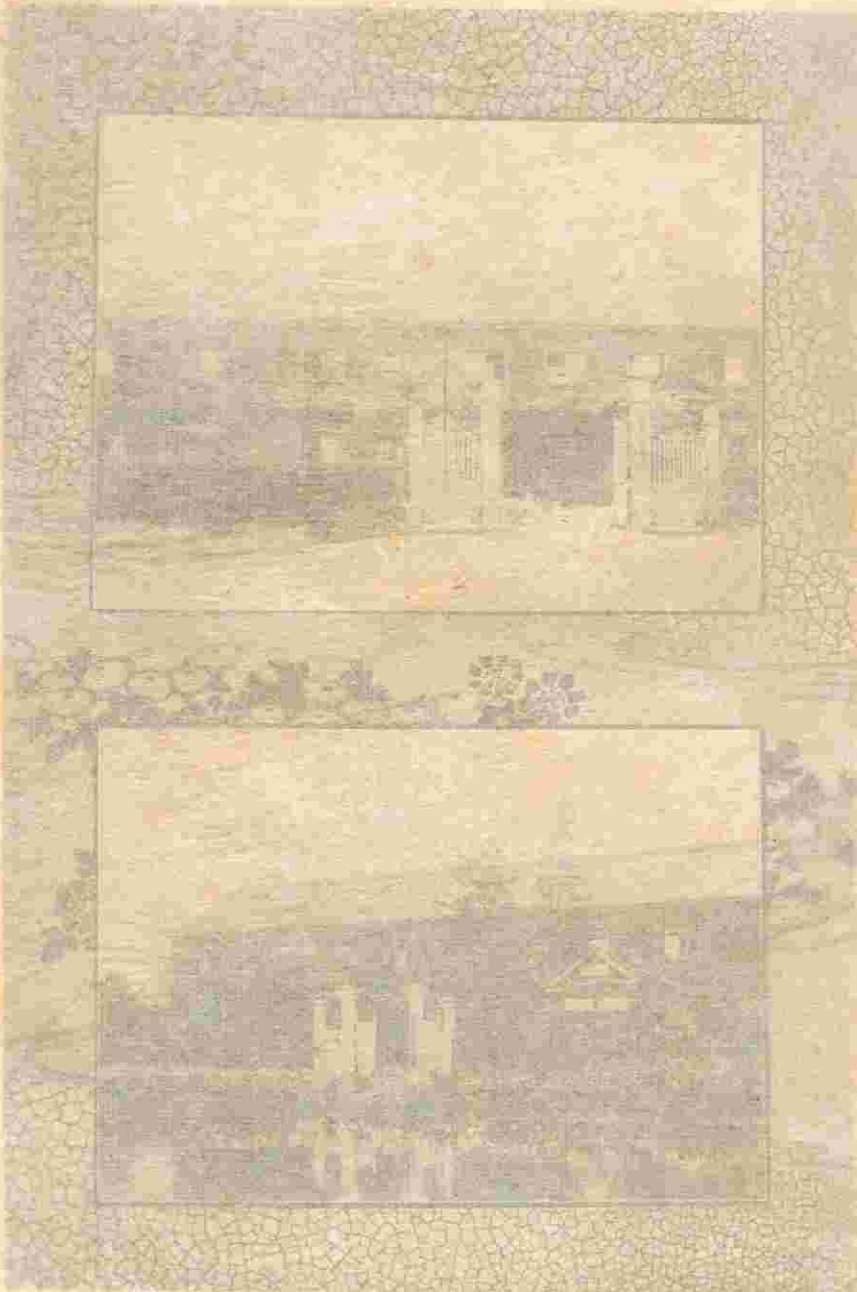
吉井梅次郎君



高崎市役所



高崎商業會議所



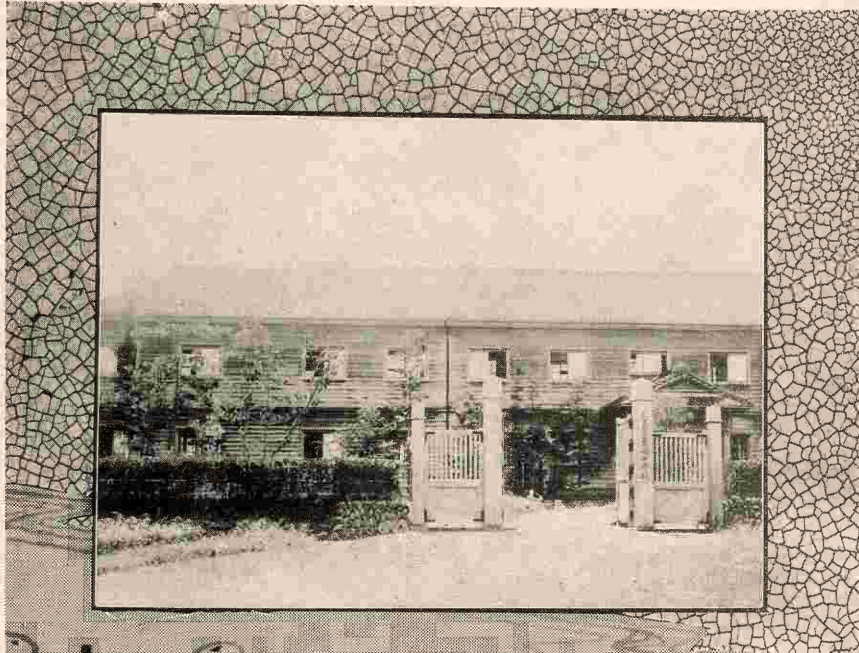
高崎女子學校



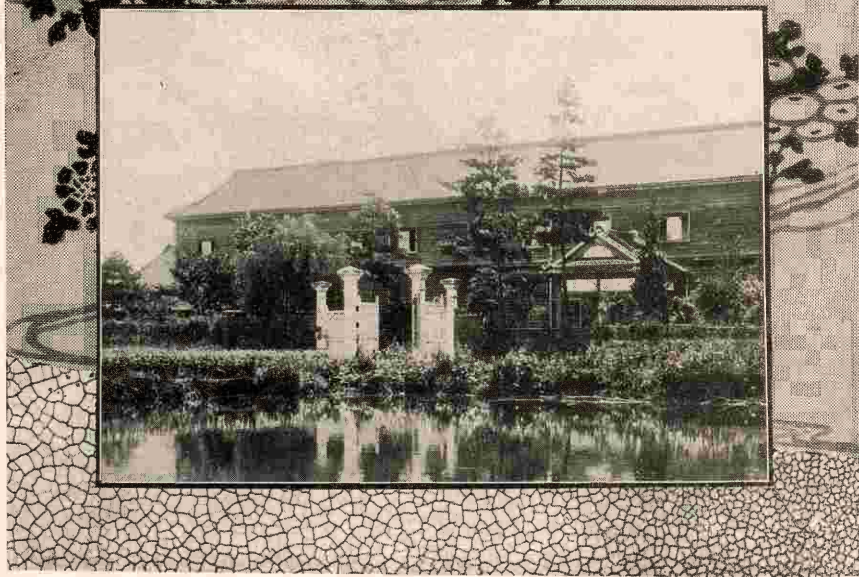
教育品展覽會

高崎市立商業學校

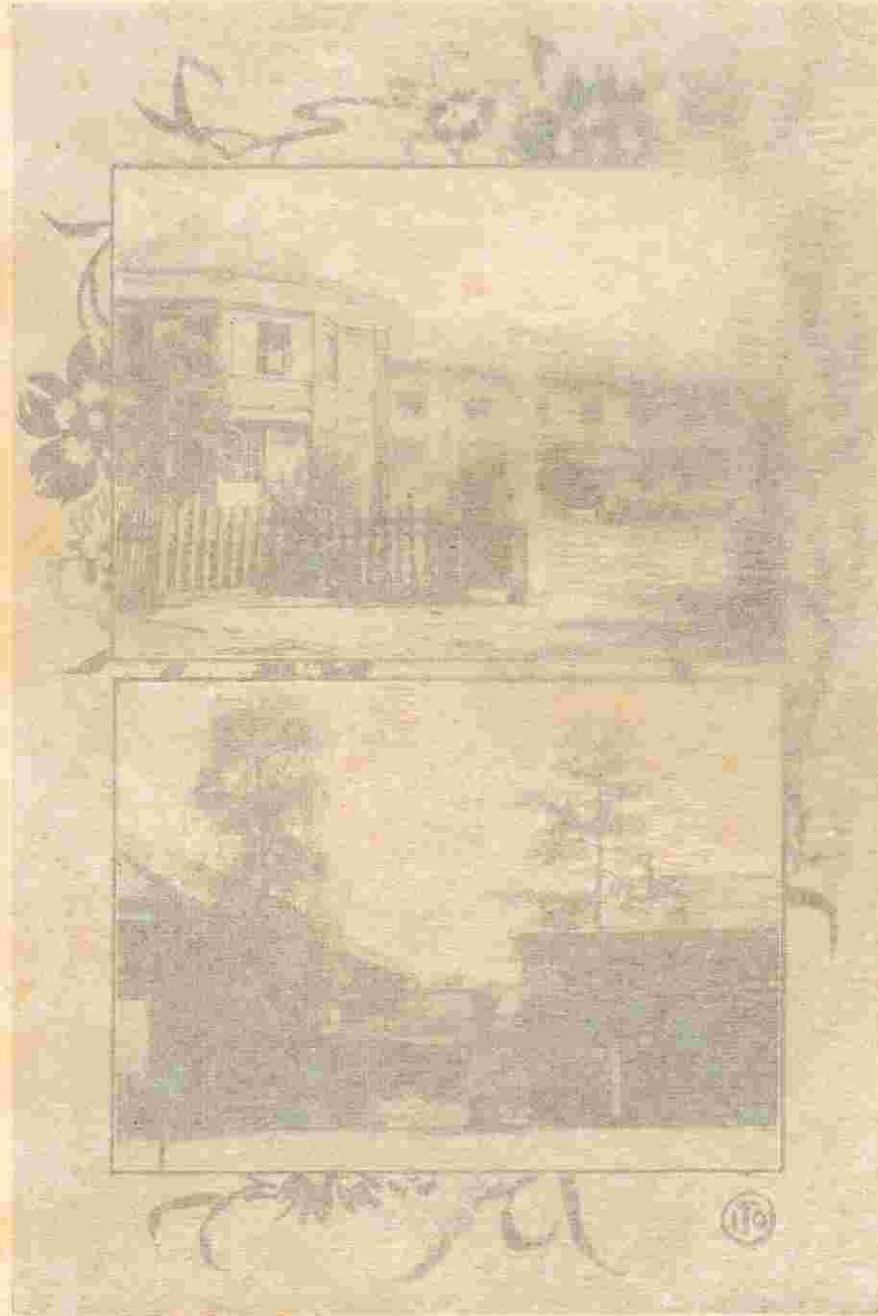
(110)



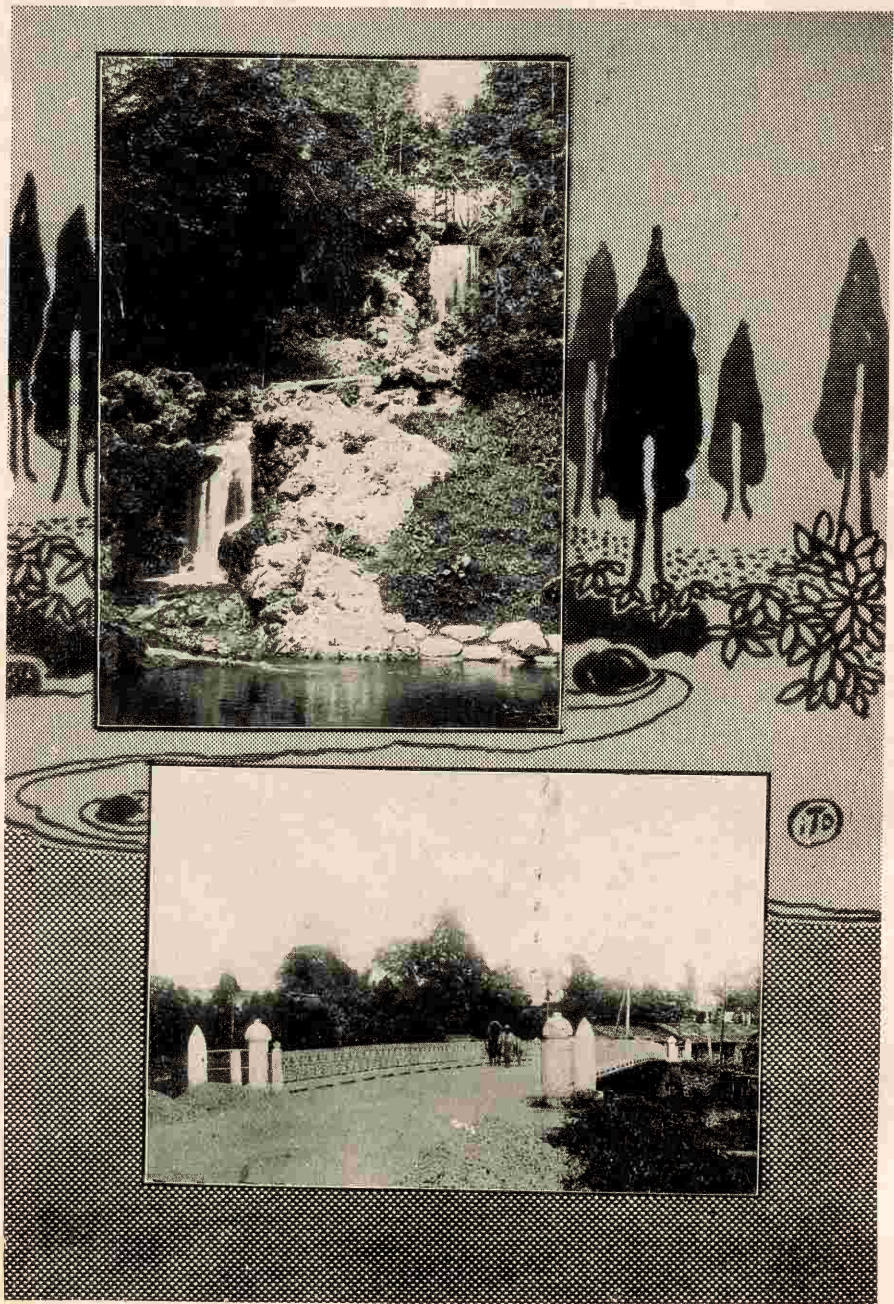
高崎中學校



高崎高等女學校



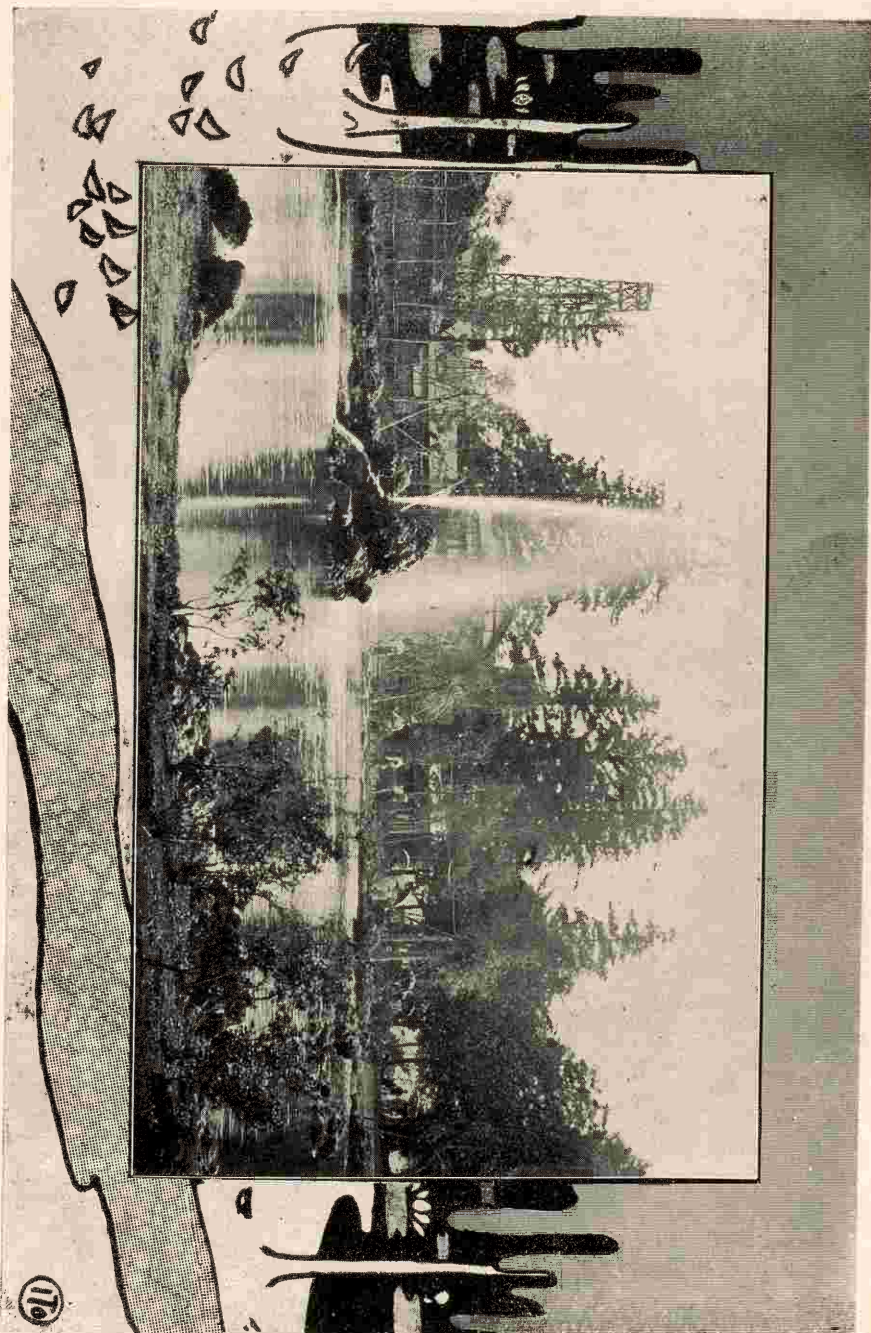
高崎高等女學校

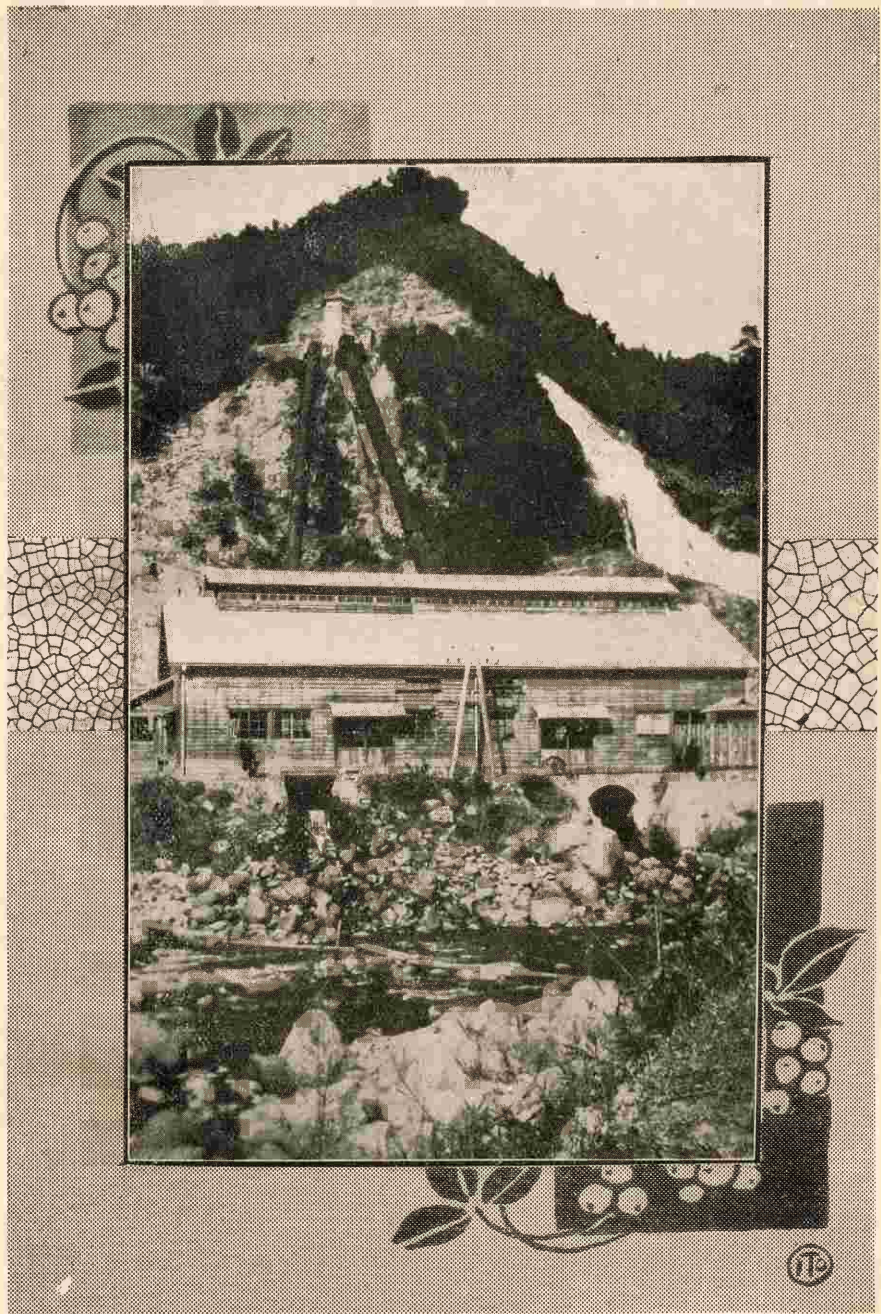


公園の瀧

君ヶ代橋

公園の水噴





池 源 水

發刊の辭

近來各商業會議所に於て商工人名錄を發刊して汎く市内商工業者を紹介し以て商工業上に裨益する處少なからず

本會議所は茲に看る處あり本縣に一府十四縣聯合共進會の開催せらるゝと同時に本市に教育品展覽會を開設せられ内外の人士多く本市に集合せらる此の時に方り本市の商工業者を紹介すると共に一面産業の狀態を知らしむるは最も好機會なりと信じ高崎商工業案内を發刊するに至れり素より記事の完全なるを期すると雖ども公務の傍ら編纂したるものなれば杜撰の譏なきを保せず請ふ幸に諒せられんことを

明治四十三年九月

編 者 識

高崎市商工案内

○目次

- 一、本市ノ沿革
- 二、市街發達ノ概要
- 三、商工業
- 四、交運運輸、通信ノ現状
- 五、商業會議所ノ設立并ニ其事業
- 六、本市各町名命ノ由來
- 七、商工業者人名
- 八、統計
- 九、名勝案内
- 十、附近ノ遊覽

高崎市商工案内

高崎市の沿革

我が高崎市は素と後堀川天皇の御宇寛喜二年和田義盛の八男義國群馬郡和田山より居を爰に移し子孫繁榮し遂に和田宿と改稱せり和田氏は世々上杉氏の旗下に屬せしか右兵衛の太夫信景に至て武田氏の麾下となり其子信業天正十年に織田氏に従ひ瀧川一益の指麾を受け後ち北條氏政に屬し天正十八年小田原城の没落と共に滅亡せり此間凡そ三百六十年の久しきに亘り其後徳川氏の政權を握るや慶長三年中山道を啓かるゝに方り樞要の地なるを以て井伊直政に命じて新城を築かしめ七口を設け町割を定め高崎宿と改稱せり後ち酒井家次、松平守長、松平信吉、安藤重信、大河内輝貞、間部詮房等相次て城主となりしが享保二年に至り大河内氏再び封せられて城主となり以て維新に至れり

明治二年藩に代ふるに縣を以てせらるゝに方り高崎驛と稱し群馬郡の一部たり十二年郡を東西に區分せらるゝや西群馬郡に編入せられ二十二年に及び自治制を施行し高崎町と稱したりしが三十三年四月郡部を獨立して遂に高崎市と稱するに至れり爾來市街の擴張家屋の構造、道路の改修其他百般の施設漸く其緒に着き舊來の面目頓みに一新するに至れり歩兵第十五聯隊は明治五年東京鎮臺の分營當

時より本市に置かれ兵事上の要地として上信を扼するに至れり次て郵便局、裁判所、小學校、中學校、高等女學校、商業女學校、市役所、郡役所、警察署、稅務署、聯隊區司令部、小林區署、蠶病検査場、專賣局高崎支所等の新設あり商業機關としては茂木銀行、第二銀行、群馬商業銀行の各支店、高崎銀行、積善銀行、倉庫會社、「ビルブローカー」の設立商業會議所、重要物産組合に産業組合の新設茂木製糸場、水力電氣會社、昇明社碓氷社分工場及び圖書館の設置等は尤も市街に美觀を添へ我が高崎市は遂に現今の如く繁榮を來し群馬縣の一首都となりたるも偶然に非ざるなり。

市街發達の概要

高崎市は關東の西北に位し東經百三拾九度北緯三拾六度海面より高さこと三百九呎にして群馬縣に於て前橋市と對峙せる一首府にして中山道の要路を占め商業上好地位を得ると同時に兵事上に於ても樞要の地たり昔し東京(舊江戸)并に關東の人士が信濃の善光寺へ詣でんとするには必ず高崎を通路と爲し又信越の人々が東京へ行かんとするにも本市を經過せざるべからず而して市の東北は群馬郡に接し西は碓氷郡に連なり南は多野北甘樂の兩郡に亘り榛名、赤城、妙義等の三山を望み烏川の激流は西北地方より舊城趾斷崖の南方を流下し神流川に合して埼玉縣に注げり昔時は農民多數にして商工業者は甚だ少數なりき然れども世の文明と共に古の制度は漸く變遷し社會の進運は駉々として底止するな

く人口の増加するに従ひ衣食住の増大となり市街は益々擴充し慶長時代には纔に拾數ヶ町を有するに過ぎざりしもの漸次に膨脹し今日に在ては五十二ヶ町と増加するに至れり而して市面積は九十萬四千百九十貳坪壹合八夕にして其廣袤は東西壹里餘南北壹里貳拾町に達せり蓋し發達の要素たる種々なる原因あるべしと雖ども元祿三年に於ける城主織物業生絹太織に關する發令并に獎勵は慥かに本市發達の一原因たりしは疑へからざる事

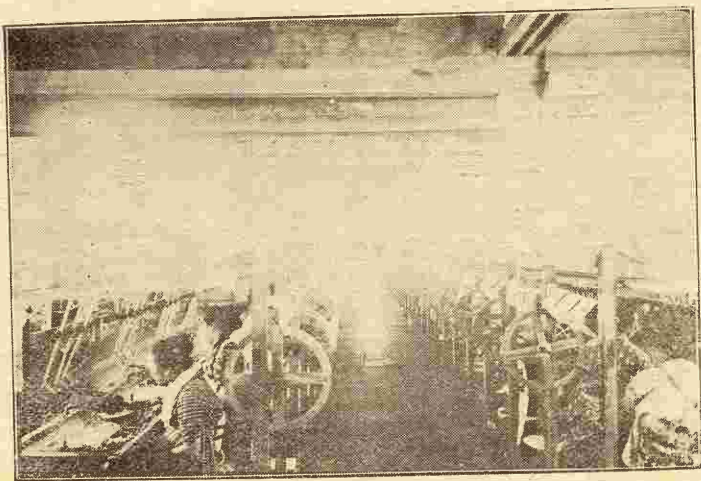


停車場

實なりとす爾來信生絹太織は農家の副業として之を製織し市街に持來りて賣買するもの頗る多大にして終に市日を五十、と定むるに至れり當日市中は爲に一層賑はへり之れが動機は近郡に波及し多野郡の藤岡、吉井北甘樂郡の富岡、下仁田、碓氷郡の安中、佐波郡の玉村と各町にても生絹太織を製造して本市に持來れる等密接なる關係を結びて市街の繁榮織るが如くに至れり次に高崎市をして發達せしめたるは生絲貿易の開始之れな

り内地用の外其販路を知らざりし本邦人は我が國の特産たる生絲の外國人の嗜好に適すると聞くや商
 となく工となく農となく苟も土地を有するものは桑園を造り蠶業を盛ならしめ製絲業に従事するもの
 俄かに激増し谷郡町村に於ける生絲は必ず本市に於て集散するに至れり當時京屋と稱し貨物の運輸を
 主とし又島田組ありて金錢送達の便を各都府に與へたる如きは本市と隣國との商業取引を頻繁ならし
 め郡村との關係益々密着となるに至れり其後維新の改革は廢藩置縣の制度となり明治五年に東京鎮臺
 の分營を置かれたるは特に本市に一光彩を放てり從て兵事上の需用増加し營業上に金融上に多大の利
 益を與へたるは著明の現象なりとす然るに當時の運輸交通の機關たるや信越方面よりの貨物は馬を以
 て運搬し士農商工は草鞋掛に脚絆を着け上り三里下り十八町の碓氷嶺を越えて本市に來り東京方面の
 貨物は小網町より船に積み烏川を遡りて倉ヶ野川岸に陸揚し牛の背を以て本市に運ぶ何れにしても當
 地を通過せざれば彼我の貨物を交換すること能はざりき然れども其運輸力の遅々として其不便不利甚
 だ少しとせず之れが不便之れが不利を救済したる利器は則ち上野・高崎間に鐵道の敷設となり信越線
 の開通となり兩毛線は前橋を経て小山に達し奥羽線と合したるなどは本市をして急速なる進歩發達を
 爲さしめ商業に工業に年一年と繁盛を極め百貨輻輳するに至れるは全く地形の賜なりとす
 故に東北地方より交通并に信越方面に於ける交通は益々利便を加へ商業の取引は神速に行はれ彼我の
 工產品は隆々として發達の域に進めり爲に人口は増加し商店は軒を連ね其構造昔日の比にあらず明治

初年前のとは統計を得ざるを以て遺憾乍ら之を詳にせずと雖も明治三十一年には戸數五千七百七戸人口
 二萬八千九百六十三なりし
 が三十五年には六千〇四拾
 二戸となり人口三萬二千八
 百二十二と増加し更に四十
 二年に於ては戸數六千六百
 五十四戸人口三萬八千八十
 人となり十七年間に於ける
 増加力は戸數千五百四十七
 戸にして人口九千貳百十七
 人を増加するに至れり尙ほ
 高崎市の繁榮を直接又は間
 接に助長したるものは明
 治六年二月に高崎郵便電信*
 て以て今日の隆盛を爲すに至れるや必せり



茂木製絲場

*局の設置并に日本鐵道株式
 會社の停車場の位置にして
 引續き諸官衙諸學校は續々
 として新築せられ特に明治
 四拾年には電話の架設とな
 り市内は勿論長距離にも通
 話の便を得たるは幾多の商
 人數萬の旅客に便益を興へ
 たり就中本市の大工事たる
 水道は完成し飲料に將た工
 業用に或は日常用に望外な
 る便益を興へたりき要する
 に天の時地の利人の和に依

高崎市の商工業

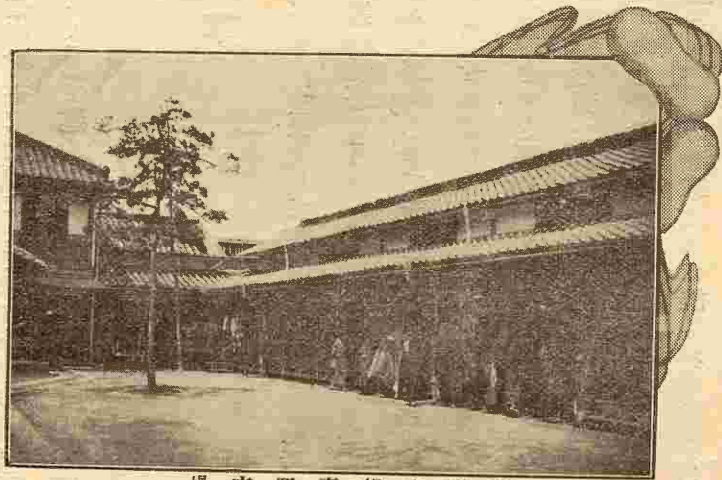
舊時高崎市の商工業は信越の物産たる米穀を茲に集中し一面信州に於て消費する處の食鹽を東京に仰き以て之を送り居ながらにして多大なる商業の取引を爲し亦た一面には隣市及び各村落より生産せる生絹太織を本市場に於て賣買し之を東京、京阪、關東北、北陸地方に供給し製絲を横濱へ出し又は福井縣に送りて羽二重の原料となす其取引高は茲に統計を得ざるも蓋し多大なり然れども社會の進運は未だ以て足れりとせず勃然として起りたるは小島鐵工場の擴張竹皮製下駄表（一名地南部と稱す）の製造漆器の製作箆筒建具類の製造なり茂木製絲場及び昇明社の新設となり以て舊來の生絹太織は其面目を革め染色業の發達亦た大に見るべきものあり之等商工業の機關として株式會社第二銀行支店合名會社茂木銀行支店の設立に次て高崎銀行、積善銀行の設立あり近來群馬商業銀行も支店を本市へ移轉するに至れり各銀行家は巧妙に敏速に切實に銀行家の本領を盡瘁せられたるを以て別記統計に詳かなるも明治四十二年に於ける出金高は九千五百萬圓餘にして入金高は約壹億圓餘に達せり本市は上毛の中心として各種の商品就中米穀、肥料、織物、石油、酒類、木材の類は群馬、吾妻、碓氷、北甘樂、多野、佐波の六郡へ供給するもの多大にして特に烟草の如きは其販賣高壹百五十萬圓餘に達せりと亦一面には各種類の蠶種（春蠶、夏秋蠶四化生）は各地より本市に蒐集し而して其價格を定むるが如きは豫

想外の隆盛にして昔時布袋屋（田組）時代の商工業とは其趣を異にせり試に之を商業并に各種の通信、電信、電話、郵便爲替等發信受信并に金額に於て本縣中我が高崎市の右に出づるものなし之れ即ち商業取引の頻繁にして現今隆々として進歩しつゝある所以なりとす左に生絹太織に關する沿革を略述すべし

沿革

高崎市産染織物の起原は元祿三年八月の頃にして當時の領主斯の物産の増進を期せんが爲め市場を町内に開設せられたるを以て斯業の濫觴なりとす當時の狀況之を詳にせずと雖ど買繼商人の員數等より推測を下すときは頗る繁榮なりしが如し降て天明五年九月に至り領主の法令を遵守し仲買申合規約十二條を制定し斯業の發達増進を期せり然るに逐年繁盛を極め當時糸好絹の上等品を黒紋附と爲し各諸侯の羽織地に用ゆること頗る流行せりと聞けり然るに天保十三四年の頃時の御老中水野越前守より御主意と稱し町人百姓は華美の服裝を禁ずる旨の告示ありて絹物を身體に纏ふこと能はざるより産額突如として相減じ爲めに斯業に變體を來せり其後該告示も自然寛大となり斯業も漸次に回復の域に達し稍々隆運を迎ふるに至れり然るに維新の改革は大に經濟界に影響を及ぼし人心恟々爲めに將さに盛大ならんとせる本市場は萎靡として人氣を喪失し更に衰頽を來すべきかを憂慮せり加ふるに生絲貿易

の俄かに増加したる爲め一時人心をして此方面に傾注せしめたる如きも産出減少の一因なりとす然れ共世の太平と共に斯業の進運を開發し蠶業の發達したる爲め原料を増加し従て機業を開始するもの續々輩出し蠶業家として其副業に絹太織を製出せざる者なきに至れり降て明治九年一月に至り熊ヶ谷縣勸業課に於て斯業の改良發達を謀るの議ありて同縣廳内勸業課は同業者を集合し濫製粗造の弊害尺幅の改正等に關し懇諭せらるゝ處ありて同年二月二十日規約を制定し其認可を*等品の需用増加し益々好況なるより昔日と産物の實質を異にし太織の産額漸次に減退し下等品より上



高崎生絹賣買市場

得尋て明治十八年群馬縣甲第五號布達に基き更に改正補訂して斯業の改善進歩を看るに至れり而して年一年に需用の増加に伴ひ産出を大ならしめ最近三ヶ年間の統計に依るに明治四十年には十七萬五千疋なりしに同四十一年には十八萬五千疋となり同四十二年には二十萬餘疋を賣買せるが如き盛況を呈するに至れり且近年糸好類小節玉立等も年々上

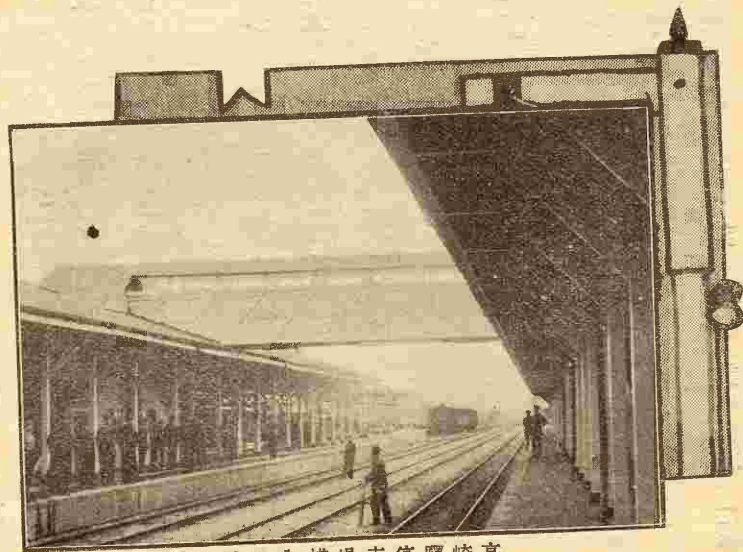
等品輕目物より重目物を太口物より細口物を愛好するが如き變遷を來し更に染色には明治六年より一大改良を加へ就中紅染は明治十九年より染料を精撰し堅牢持久に堪へしむると價格の低廉とを目的とし銳意顧客の便益を謀るに勉めたるを以て現今に在ては本邦著明の物産として高崎絹の名嶄然として頭角を著はすに至れり

交通運輸通信

の現状

高崎市の交通は東は上野高崎間に敷設せる官設鐵道*

高崎市商工業内



高崎驛停車場構内の景

*に依りて東京市に達し西北は信越線並に北陸鐵道に依り長野新潟・富山の三縣に通じ又中央西線に依り名古屋より京阪に達するの便を得るのみならず篠井線に依りて南信及び山梨縣に至り亦た一面には兩毛線に依り小山に達し東北に達するにも利便を得たり加ふるに東上鐵道の敷設は巢鴨より本市に達するの企畫なりと而して上野鐵道は北甘樂

郡下仁田町に達し電氣鐵道ありて高崎停車場前より市街を縦貫して澁川町に至り之れより腕車を用ゆれば伊香保、草津、四萬、川中、川原湯、我樂等の浴場へは極めて利便なり亦た高崎、室田間に馬車あり榛名登山、水力電氣の水源地へ往復頗る容易なり尙ほ高崎安中間にも馬車ありて近郷の旅客に利便を與へつゝあり故に交通運輸に至ては所謂四通八達の地にして市の繁榮を爲すに至れり翻て通信事業を顧みるに二等郵便局は甚だ遺憾とする處なるも市内に三ヶ所の三等局を設置し公衆の利便に供せり一ヶ年の通信高は別表に詳かなるも電信の發着六萬通市外電話三千六百回各種の郵便物(書狀)は五百萬通に達せり市内連雀町に本局を設け各府縣に通信を爲すこと頗る自由なり現今市内に電話を架設せるもの二百八十二戸加ふるに要所には自動電話の設けあるを以て旅客又は通行人に於て急用の生ずることありと雖も毫も不便を感ずることなし

高崎商業會議所の設立

高崎商業會議所は商業機關として必要に迫り明治二十八年八月廿四日の創立にして會頭の更迭を見ること五回議員の改選を爲したること七回其間に於ける會議所の任務並に活動には多少の消長ありと雖も一年に活動を開始し現今に在ては一般商工業者も商工業の發達上に必要なる機關なることを覺知し常に商業會議所か、或は中央に、或は地方に聯合會を開き商工業に於ける利益を増進し市の商工業

を代表するのみならず農業にも其餘澤を與へるに至れることを信せり今左に創立以來の重なる事業を記述せん

高崎商業會議所は明治二十八年十一月創立總會を開會し自來本年に至る十五ヶ年間著るしき事業を爲したる形跡は有形上に看ること甚だ少なしと雖ども商業會議所としての事業は數百件の多きを算す、今左に創立以來の重なる要件を明示す

- 一 葉煙草專賣所設置に付
- 一 大藏大臣へ意見書を呈せ*
- 一 米國輸入關稅改正の義に付外務大藏兩大臣へ建議書を呈せり

高崎市商工業案内



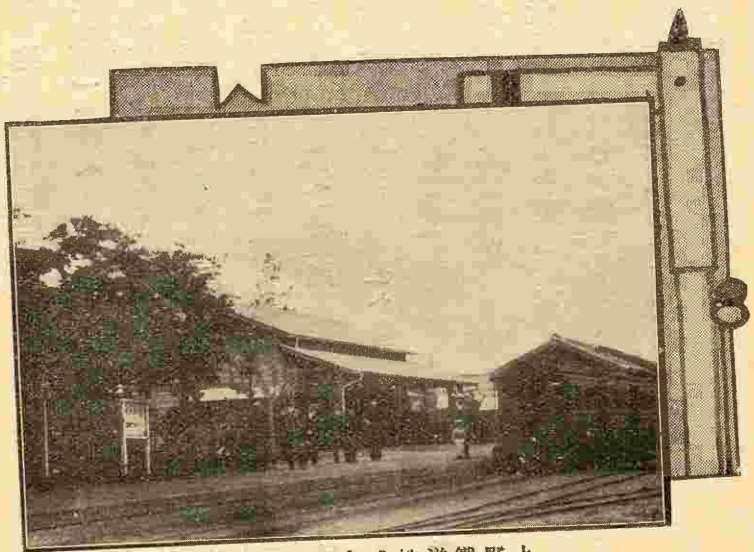
商 業 會 議 所

- 一 流通貨幣の狀況を深谷群馬郡長へ答申せり
- 一 俵製荷造の舊協法を安藤商工局長へ答申せり
- 一 本市製糸業に其の狀況を深谷群馬郡長へ答申せり
- 一 海外に於ける我が商工業者及び漁業者の姓名財産保護に付總理外務農商務の三大臣へ建議書を呈せり

- 一 政府紙幣及銀行紙幣流通上に關する調査を爲し群馬縣内務部長へ答申せり
- 一 統計條例制定の義に付總理農商務兩大臣へ建議書を呈せり
- 一 營業稅法改廢に關し大藏農商務兩大臣へ建議書を呈せり
- 一 官設鐵道(信越線)貨物停滯の義に付逓信農商務兩大臣へ建議書を呈せり
(結果碓氷嶺熊の平「アプト」式復線となるに至れり)
- 一 各種の印紙統一に關し大藏農商務兩大臣へ建議書を呈せり
(結果現行法の如く統一の制度となれり)
- 一 書留郵便物に對し政府に於て責任を負ふべきことを逓信大臣へ建議書を呈せり
(結果豫期希望を達せずと雖ども現行制度の如く改正せられたり)
- 一 外國商業實修補助費増加の義に付農商務大臣へ建議書を呈せり
- 一 本邦通信機關改良に關し逓信大臣へ建議書を呈せり
(結果着日完成を見るに至れり)
- 一 現行郵便條例中改正の義に關し逓信大臣へ建議書を呈せり
(結果現行法の如く改正せらるゝに至れり)
- 一 市街宅地租増徴反對の建議書を總理大藏農商務三大臣へ呈せり

(結果本建議は採納せられたり)

- 一 地租増徴賛成の建議書を總理大藏兩大臣に請願書を貴衆兩議院へ呈せり
(結果地價修正の土地租増徴の決議を爲すに至れり)
- 一 手形作成要件に付司法大臣へ建議書を貴衆兩議院へ請願書を呈せり
(結果作成要件を一定にし手形記載上に關すれり)



上野鐵道株式會社内全景

- * 紛争弊害を防止するに至れり
- 一 家屋稅法の義に付建議書を大藏大臣へ呈せり
- 一 壹圓金券發行の義に付建議書を大藏大臣へ呈せり
- 一 日本郵船會社航路補助金に關する建議書を農商務大臣へ呈せり
(結果補助金八拾餘萬圓を交附せらるゝに至

- 一 印紙税法に關する建議書を大藏大臣へ呈せり
- 一 輸入生糸税全廢に關する建議書を大藏農商務兩大臣へ呈せり
- 一 富山直江津間鐵道敷設を第一期線へ編入の義に付建議書を逓信大臣へ呈せり
- 一 衆議院議員選舉法改正の建議書を總理内務兩大臣へ建議書を貴衆兩院へ請願書を呈せり
- 一 本市電話架設の義に付建議書を逓信大臣へ呈せり
- 一 四國鐵道第一期線へ繰上げの義に付建議書を逓信農商務兩大臣へ呈せり
- 一 輸出羽二重検査所を横濱神戸の兩港へ設置建議書を農商務大臣へ呈せり
- 一 商工業の發達奨励の方針に關し矢島高崎市長へ答申せり
- 一 衆議院議員選舉法別表追加の義に付建議書を總理内務兩大臣並に群馬縣知事へ呈せり
- 一 (結果現行法の如く獨立選舉となるに至れり)
- 一 高崎米穀取引所輸解散に付陳情書を農商務大臣並に群馬縣知事に呈せり
- 一 現行所得税法中改正の義に付意見を大藏大臣へ開申せり
- 一 印紙税法中改正の義に付建議書を大藏大臣へ呈せり
- 一 富山直江津間鐵道急設の建議書を逓信農商務兩大臣へ呈せり
- 一 鐵道貨物取扱手数料廢止の義に付建議書を帝國鐵道廳へ呈せり

商業會議所條例改正の義に付建議書を農商務大臣へ呈せり

- 一 (結果現行商業會議所法を發布せらるゝに至れり)
- 一 現行商法中改正の義に付建議書を司法大臣へ呈せり
- 一 電信取扱時間の義に付逓信大臣へ意見開申書を呈せり
- 一 壹圓紙幣流通上に關する意見を大藏大臣へ開申せり
- 一 工場法案に對する答を設けることを農商務省同商工局長へ申請せり



高 崎 停 車 場

- * 申書を安廣農商務總務長官へ呈せり
- 一 所得税法中改正の義に付建議書を大藏農商務兩大臣へ呈せり
- 一 高等教育會議員に實業家を加ふる建議書を農商務文部兩大臣へ呈せり
- 一 (結果本建議は採納せられたり)
- 一 商業會議所議員選舉權資格に關し特別制限

- (結果營業稅額拾圓とあるを七圓に低下するを得たり)
- 一 煙草製造工場位置に關する意見書を大藏大臣へ呈せり
- 一 戰爭は商工業特に酒類及醬油の製造販賣消費に關し如何なる影響を及ぼせしや否やの諮問答申書を宇都宮稅務監督局長へ呈せり
- 一 明治三十七年十月十日國民に賜はりたる詔勅に對する決議

堅忍持久終局の目的を達することあるを努めよとの 聖勅を奉體し戰局の進行に併せ誓て奉公の誠
に竭さんことを期し茲に之を決議す

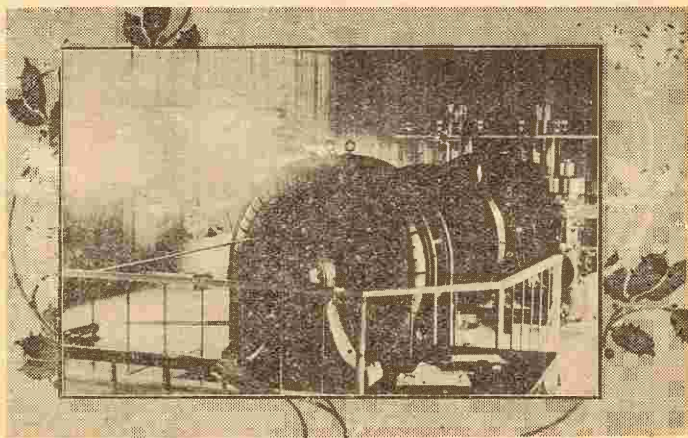
- 一 所得稅調查委員會獨立の義に付申請書を若槻大藏省主稅局長に呈せり
- 一 繭の運賃引下げ希望の意見書を逓信農商務兩大臣へ呈せり
- 一 電話架設の義に付意見開申書を再び逓信大臣へ呈せり
(結果現今の如く電話を架設するを得たり)
- 一 現行所得稅法中市獨立調查會設立に關する建議書を拾會議所連署を以て大藏大臣へ呈せり
(結果本建議は採納せらるゝに至れり)
- 一 稅法に關する調査事項

- (イ) 營業稅に關する調査
- (ロ) 所得稅に關する調査
- (ハ) 通行稅に關する調査
- (ニ) 織物消費稅に關する調査

右調査事項は東京商業會議所を經由大藏省内に開會せられたる稅法調査委員會へ參考として提出せり

- 一 高崎澁川間電氣鐵道敷設の義に付建議書を内務逓信兩大臣並に群馬縣知事に呈せり

一 左の各項は便宜上全國商津群馬縣會議長へ呈せり



水力電氣發の電所

- 業會議所聯合會長の名義を以て内閣各大臣へ建議書を呈せり
- (イ) 稅制改廢に關する件
- (ロ) 鐵道貨物停滯救済に關する件
- (ハ) 火災保險業者取締に關する件
- (ニ) 關稅に關する調査の件
- 一 高崎前橋兩市へ家屋稅法實施延期の建議書を高

以上は其概要を記述せしに過ぎず其他の數字上の事は卷末統計に表示したるが如し明治三十九年山梨縣開催の一府九縣聯合共進會四十年東京市開催の東京勸業博覽會四十一年長野縣開催の一府十縣聯合共進會の出品に付ては其出品を勧誘し意匠裝飾等に關しても聊か微力を盡したるの効驗ありて本市出品の其數量の少なき割合に授賞の多かりしは著るしき事蹟なり加ふるに今回本縣主催の一府十四縣聯合共進會は更に其規模擴大なるを以て出品勧誘委員會を會議所内に設け現任役員と委員七名と日夜東奔西走して其活動に勉勵しつゝあり

議員及び役員事務員の氏名

着席番號	職	業	電話番號	住	所	氏	名
壹番	蠟燭	商	一三一番	本	町	櫻井	仙次郎
貳番						缺	員
三番	貸金	業		柳川	町	反町	慎哉
四番	砂糖	商		羅漢	町	小林	繁吉郎
五番	生絹販賣	仲買業		田	町	關口	忠三
六番	菓子	商	二〇三番	連雀	町	清水	濱吉
七番	茶	商		本	町	駒井	廣吉

八番	紙	商	三二〇番	本	町	横山	文四郎
九番	砂糖	商	一一九番	連雀	町	小坂橋	彦次郎
拾番	染絹卸賣	商	一二五番	中紺屋	町	中島	仙助
拾壹番	吳服太物卸賣	商	九番	田	町	吉井	梅次郎
拾貳番	牛乳搾取業		二五〇番	柳川	町	栗本	信作
拾參番	染糸	商	二五一番	田	町	住谷	常次郎
拾四番	藥劑師		三三四番	本	町	福田	福太郎
拾五番	荒物	商	三四九番	赤坂	町	寺田	永四郎
拾六番	銀行重役			鞘	町	福田	儀兵衛
拾七番	陶器	商	二一七番	連雀	町	樋口	清七
拾八番	酒製造業		二五〇番	歌川	町	蠟山	政次郎
拾九番	洋物	商	三四二番	田	町	青木	勘之助
二十番	染色業		三二二番	九藏	町	落合	庄平
二十一番	米穀	商	一二二番	相生	町	渡邊	與喜知
二十二番	材木	商	四〇三番	末廣	町	中島	慶藏

二十三番	請負業	一四一番	八島町	井上保三郎
二十四番	米穀商	一五番	旭町	清水久太郎
二十五番	吳服太物商	四六番	本町	相川藤平
二十六番	質商		柳川町	松山省
二十七番	鐵物商	四八番	本町	小保方元吉
二十八番	鐵器製造業	一一五番	歌川町	小島彌平
二十九番	電氣業	一八番	常盤町	高崎水力電氣株式會社代表 須藤清七
三十番	荒物商業	四三番	九藏町	岸龜吉

會頭	小島彌平	副會頭	反町慎哉
常務委員		庶務部長	福田福太郎
		會計部長	横山文四郎
			相川藤平
			關口忠三
			吉井梅次郎
			須藤定吉
			瀧田滿瓊

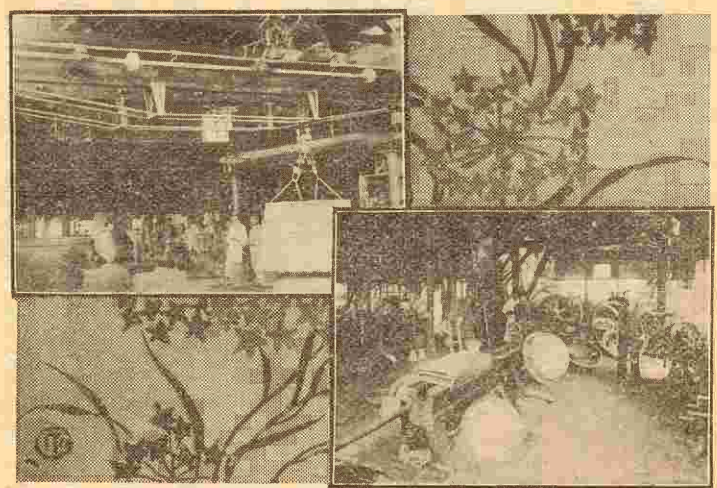
各町名の由来

○連雀町 は初め箕輪の
大手前にありし町なる
を以て此地に遡りても
亦城主より命じて大手
門前に置れしなり

○田町 は連雀町の北に
續けり箕輪にて田宿と
稱せし故を以て田町と
名づけしと現今市街の
首位を占め商業盛也

○九藏町 は田町の北に
續く慶長六年北爪九藏
を以て名主とし爾來九
藏町と呼び爲すに至れ
り

小島鐵工場



(部内) 場工島小

○沿革 當工場は文政六年の創業にして専ら農具 噓器等を製造
し來りたるに世運の進歩に伴ひ明治二十二年より漸次に擴張し
蒸氣機關及だら盤其他仕上り器機を据附諸機械類ヲ製造販賣
するに至り

○製造品目 車輪、諸機、鐵物、建築、鍋、釜、

○販路 長野、新潟、栃木、埼玉、東京、群馬、一府五縣及東北地方

○電力十馬力 ○石油發動器拾五馬力
一ヶ年製産額 八萬圓 ○職工 百拾名

○本町 は九藏町の北

に續き西に左折する町にして古昔の和田宿なり高崎城を築かれし時今井宿馬上宿を此地に移して一町とす城下根本の町なるを以て本町と名く現時商業頗る盛なり

○赤坂町 は本町の西に續き石橋を以て境とす(高崎城赤坂門の廓外に坂あり)酒井氏領の時は給人町と云へり

○四屋町 は赤坂町の北に續けり正徳元年新たに開くと云ふ（古事に謂ふ四屋は四阿屋アツヤの訓を誤りて四つ屋と呼びしなるべしと此の町には今に四阿屋宮の存するを以て明かなり）

○相生町 は四屋町の北に續く寶曆六年赤坂町名主小泉某領主に請うて町となし相生町と名けらる

○常盤町 は赤坂町の西に續けり正徳元年に辛卯町と改稱せしことありとぞ

○歌川町 は常盤町の西にして高崎市の入口なり町中に石橋を架せり古老の言に昔時この石橋の上にて定家卿歌を詠れしことありとて人呼びて歌の橋と名く此れよりして歌川町と稱するに至れりと按ふに定家卿には非ず道興准後の衍なるべし

○新町 は連雀町の南に續く和田氏以來より民家あり町の命指を詳にせずと雖ども昔時（此の町に飯家常仙と云ふ者ありて五月端午の祝に殿閣諸門に菖蒲を葺かじめ年暮の松飾を爲すに此町より人夫を出せしことは井伊家の嘉例なりと云ふ）城主より賜はりたる町名なりと傳へり

○新田町 は新町の南に續く慶長十一年城主酒井家次新後閑村の民家を此地に移し新たに町と爲したるか故に此稱ありと

○南町 は新田町の南に續けり領主安藤氏の命に依て慶安三年始めて町となす城下南端なるが故に南町と稱せり

○新喜町 は南町の東南に續く本市の入口なり間部越前守詮房城主の當時正徳二年田町、連雀町、南

町の住民請うて町とす町端に石橋あり昔時荒木某と云ふもの此の石橋を架す人之を荒木橋と呼びしより遂に荒木町と云ひしを

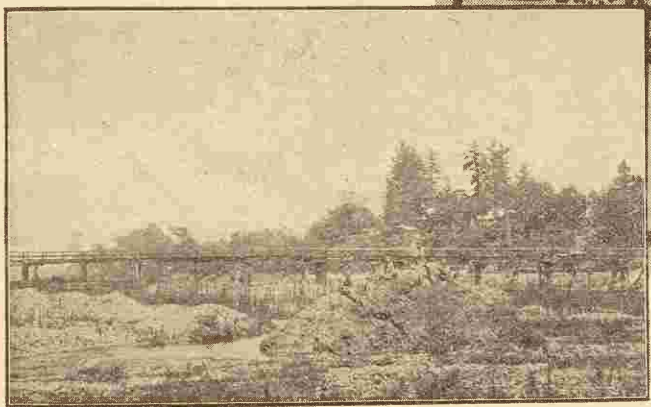
新喜の二字に更めたりと

○鞆町 は連雀町の北方に連なり慶長年中箕輪より徙せり此町昔時鞆師の住居せるが故に此の名ありと

○中紺屋町 は鞆町の北に續き十字形を爲せり町名の由来詳かならず蓋し元紺屋町と新紺屋町との中間に位るせるが故に名付くと（昔時紺屋職在住せしに依るならん）昔時は元紺屋町と一町

續けり相傳ふ此町も箕輪より徙れりと元紺屋町に相對して命名せりと云ふ

高崎市商工業内



橋 石 聖

○寄合町 は中紺屋町の北に續く町名の由来詳かならず相傳ふ昔時此地に農工商雜居せし故に近隣の者寄合町と呼びしより遂に町名となりし由又古記に五器町と記せり五器（椀）を造る者住せし故なりと此の町の一部に今も五器町の名残れり

○新紺屋町 は寄合町の北に

- 嘉多町 は新紺屋町の西に續き東西の町なり此町は昔し片町と書して明和八年より各地より人家を徙し來り安政三年より文字を更へて現今に至れり
- 柳川町 は舊城内北廓と唱へし地にして新紺屋町の西に續き北に嘉多町に連なり小流北より南に注ぎり此町名を附したる由縁は昔時此小流の端に柳の大木ありて近き頃迄其幹残りりと則ち柳の川なる町の意なりと云ふ
- 堰代町 はもと堰方屋敷及城代組屋舗なりしを維新の際堰と代との二文字を採りて則ち堰代町と名けしなりと
- 宮元町 は舊城内廣小路米見町代官町を合併して改稱せり舊藩主の祖神たる賴政神社の鎮座あるを以て宮元の稱を町名せり
- 龍見町 は舊下和田村の耕地なりしを明治元年藩士東京より移住の際之を宅地と爲し和田邸と呼稱せり從て町名を置かるゝに際り本城より辰巳の方位なるを以て町名と爲したりと云へり
- 檜物町 は新町の西にして北連雀町に連なれり町名の由來を詳にせず昔時多くの檜物師住居せしに依り此の町名を附せりと
- 鍛冶町 は檜物町の南に連續す此町は箕輪より徙れり多くの鍛冶職(守重、守次、守行など云へる刀工)住居せるが故に町名となせりと云ふ

- 下横町 は古昔前裁町と稱せり城主安藤家の圃なりしを以て然か云へりと(前裁の稱之より出づと)又下横町と呼稱するに至れるは城下最下の小路なるを以てなりと云ふ
- 砂賀町 は新町の東小路を云ふ此所に須永禮道善と云ふもの住居し逐年人家の増加せしを以て城主より須永町と名けられしを後に砂賀と改めたりと
- 通町 は連雀町の東に續き南北の町にして東折せり慶長の頃中仙道の往來なりし故に通町と云ふ昔時は城下の本道なりしと云ふ
- 白銀町 は田町の東に連なる東西の町なり昔時此町に白銀師多く住せしより町名と爲すに至れり
- 元紺屋町 は白銀町の北にあり東西の町にして田町の舊市神の前に通す此町の名主宇佐美某が祖先昔時箕輪にありて紺屋業の長なりしが慶長年中井伊直政城主となりたる當時も紺屋の支配を爲すべき旨命せらる之れ町名となりたる所以なりと
- 羅漢町 は通町の東隣にあり昔時は五百羅漢町と云ひしを今は略して羅漢町と呼ぶ由來詳かならず或は云ふ法輪寺の山號に據て名づけしと又町名に因て山號と爲ししが其原因を知るに由なし
- 眞町 は羅漢町の東隣にあり舊時新町の文字を用ゐりしが維新の際新町の文字に同しとて更に眞町と改名せしなりと
- 弓町 は羅漢町の北に位し城主の弓組ある故に名げしと云ふ(而して大雲寺の前に出る處は古昔此

邊を上羅漢町と呼びしことありと)

- 八島町 は停車場に位し新町、旭町、通町等に通ずる町にして本市明治三十三年に市制地となりたるとき(町を合し)八島町と名命したるものなり
- 成田町 は本町の北裏通にして下總成田山の出張所あり故に此の稱あり
- 請地町 は末廣町の西方に位する小町にして字に請地と稱する處ありて名命せるものなり
- 並榎町 は舊群馬郡下並榎村なりしを市制施行に際し市部へ編入し並榎町と稱するに至れり
- 鎌倉町 は市街の南端にして烏川に沿へり和田氏の時代には鎌倉街道なりしを以て斯く町名と爲すに至れり

高崎城趾

王政復古の御世まで大河内氏の居城たりし高崎城は明治五年陸軍省の用地となり城内の樓閣殿廊は措しむべし悉く取拂ひ數多の神社佛閣は城外に移轉せしめ東京鎮臺高崎分營を置かれ歩兵第十五聯隊を置かれたり

抑も高崎城の起原は和田左衛門尉平の義盛、北條義時を怨むるとありて一族を擧げて兵を起し鎌倉に於て一門黨與滅亡せし時八男義國萬西谷の敵軍を撃破して上野國白川の郷に來り蟄居し寛喜元年赤

坂庄に移る子小太郎正信寛元年中熊野二の宮五靈の三社を相州三浦より赤坂に勸請す後信高に至りて

始めて和田と稱するに至れり

其裔義信に至りて正長元年和田城を築きたるを以て

高崎城の起原とす和田氏は

世々上杉氏の麾下に屬し後

ち武田氏織田氏北條氏の旗

下となれり天正十八年北條

氏の滅亡と共に落城し數十

年の間荒廢せられたり其後

慶長三年徳川氏の命に依り

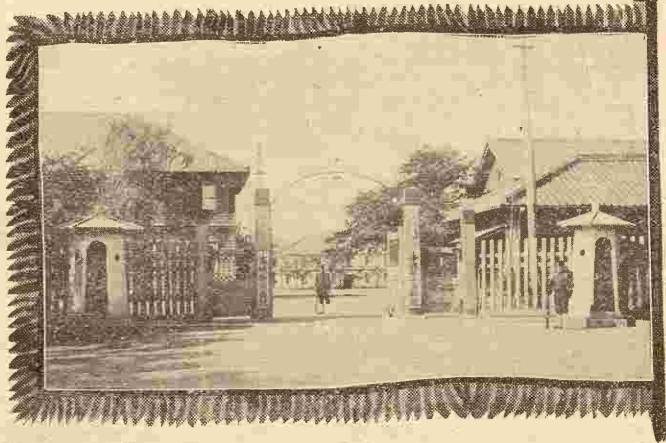
井伊直政箕輪城を墓して高

崎城を築く之れ歩兵第十五

聯隊の兵營たる舊城地な*

腹の命に接す寛永十一年十二月六日恨を懷き不歸の客と化し同寺に葬らる寛文三年に至り特赦せられ

高崎市商工業内



歩兵第十五聯隊

鎖の御靈屋

駿河大納言忠長卿の廟所にして通町、大信寺の境内にあり忠長卿家光卿と徳川家三代將軍たらんと争ひ事成らずして高崎城主安藤對馬守重信に預けられ蟄居の境遇に陥るや重信其悲運を歎し之を救はんと屢々愁訴を爲すと雖ども聽許する處とならず遂に將軍家より切

て基石鎖鑰も撤廢せられ靈廟を建設して菩提所とせられたり周圍四間の玉垣を廻らし入口には唐門あり青苔班々たる卒塔婆の後方に忠長御遺愛の老松生ひ茂りて星霜を閱すること二百六十年餘梢高く掩うて靈廟を守護するものの如し命日には開扉して參拜を許し以て怨靈を慰す人其常時の事を追想して哀しまざるはなし其名四方に普し

歌の橋及臺の松

清流手元



鎖鑰の御靈屋

歌の橋は赤坂村田浦用水路に架りて常盤町より歌川町へ通ずる石橋なり古老は定家卿の歌の橋と言ひ傳へたれど其は「陛下北陸御巡幸被爲在候とき當驛の名勝地なれば木標に古歌を記載し橋際に建んとて歌の橋の古歌を掲記したり」文明十八年八月聖護院准

后道興公の御事を衍りたるものなれば其詠を左に記

取もえぬ魚の心を恥もせて鵜の真似したる鳥川哉

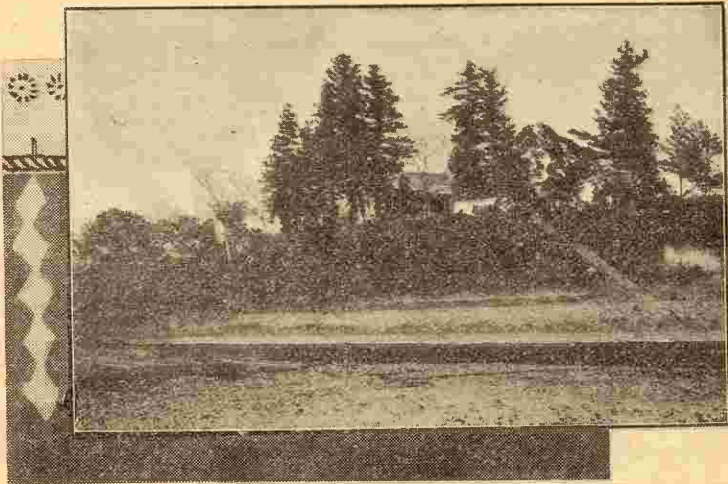
名のみして宮本にもる
ゝ臺か松引人なしに年
やへぬらむ
今は世に烟を絶て信濃
なる淺間が嶽は名のみ
立ちむ

(明治十一年八月二十七日
時の群馬縣令楫取素彦氏へ
歌川町より届出せるものな
りと云ふ)

頼政神社

大河内氏の始祖たる源三位頼政卿を祀れる社にして*

高崎市商工業内



頼政神社

*本市高崎公園に接す元録十一年松平右京太夫高崎城主となるや伊勢の森を柘き社殿を創立し大染寺を以て別當とし祭典造營等總て城主にて行ふを例とせり(年々一月二十六日を以て祭典日と定めたりしが近年に至り五月二十六日に改む)境内は官有地にして貳千百六拾壹坪を有す眼下に烏川の碧潭濼々として流れ西方觀音山に相對峙す四季の眺望絶景なり

高崎神社

當社は熊野神社にして往古寛元年中和田小太郎正信相模國三浦より勸請せり後慶長三年井伊直政箕輪より城を移し町割せしとき總鎮守と奉崇せられしより代々の城主厚く崇敬せられしが明治の制郷社に列せられ四十年八月二十四日公許を得て市内の各社を合併せらるゝと同時に高崎神社と改稱せられたり氏子三拾九ヶ町の多數を有す



高崎神社

本市の西北方上和田町にあり明治十年の頃楔教信徒の建設せるものにして境内一千四十三坪を有し高燥にし眺望頗る佳絶なり正面の一池上に板橋を架して畝火橋と名づく北は遙かに榛名、赤城の諸峯及び利根の連山を望み西は烏川を隔て遠くは妙義、淺間碓氷の諸峯近くは片岡の連山を一望

し境内には櫻樹數十ありて花時は観客織るが如くにして祭日には全市の男女絡繹として雪集す

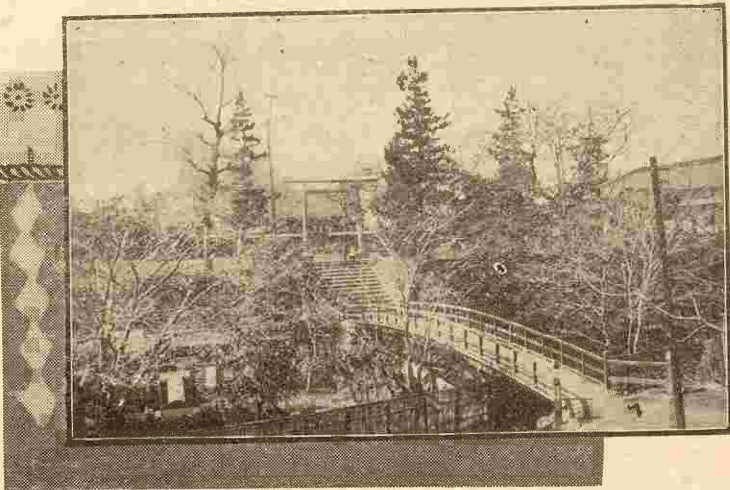
愛宕神社

當社は勸請年月未詳元和二年松平阿波守再建すと云ふ

神武の鑛泉

神武天皇遙拜殿の傍にあり神武の鑛泉と稱し浴客織るが如し鑛泉は騰し湯なれども「リウマチス」胎毒等に効驗ありと稱す

和田の三石



神武天皇遙拜殿

和田の三石は昔時名高き石なりと雖ども識者甚だ鮮し古老の傳ふる處に依れば所謂三石は上和田の圓石、和田の立石、下和田の方石なりと和田氏此三石を愛せし故に非伊直政築城の時も此の三石は其儘に捨て置かれしと云ふ
和田の三石は（現今赤坂町高崎神社へ移す）上和田の圓石は（現今刻みて善念寺（元紺屋町）の門前石橋として）下和田の方石は（向雲

寺の南畠中に屹然として立てり

聖石

享保の初年利根川通船に依り高瀬舟の繫留地なりしが其後河岸は變りて群馬郡倉ヶ野町に移りたれども有名なる聖石は長なへに泰然として變せず其上流に聖石橋あり高崎公園頼政祠及び觀音山とを界視する好風致として納涼觀月に尤も奇なりとす

君ヶ代橋

天皇陛下北陸御巡幸に際し特に架橋せしものにして本市歌川町より碓東豊岡村に通ずる國道にて鳥川に架せり觀月觀雪共に名あり

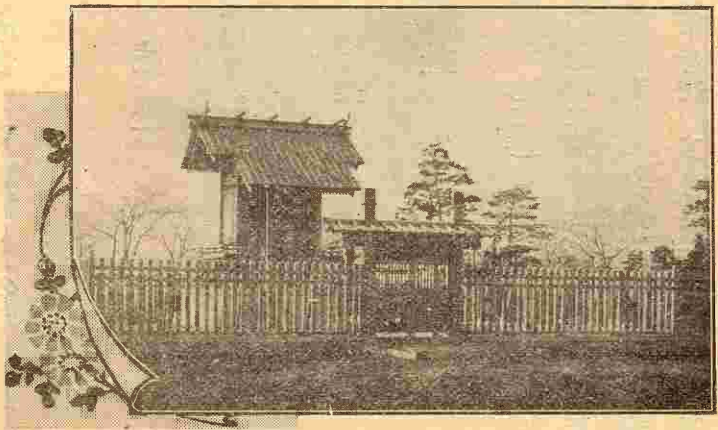
藤花苑

鳥川の北岸にあり薰風香銚梢を渉るの候幾孕の紫房圍棚に満ち美觀譬ふべからず苑内を逍遙するもの花下に談笑するもの其幾百なるを知らず背面は觀音山を瞰み風景尤もよし

英靈殿

明治三十七八年戦局を結ぶや縣當局者首唱して群馬縣弔魂會を組織し齋場を歩兵第十五聯隊兵營内に設け群馬、埼玉、長野、三縣に於ける西南の役以後殉國の士三千八百七拾五名の靈を慰する所なり爾來毎歲之を行ふを例とす次て靈祀建設の舉あり百該官廳并に公衆に諮るや至る所欣然として之を賛し醴金するもの頗る多し即ち高崎公園内に擇み

高崎市商工案内



英靈殿

建築の工を竣り英靈殿と稱す明治四十二年三月二十七日落成の式を舉げ壯嚴なる祭祀を行ひ遺族及一般公衆をして參拜せしむ森儼たる祀殿長へに國民をして忠君の誠を印せしむ

佐野の渡

高崎より藤岡に通ずる道路にして萬葉集東歌に上毛の佐野の船橋とりはなし親はさくれと家はさかるか

其他撰集歌葉等に多く出て船橋の名所なる事治く人の知れるが如し又佐野源左衛門が屋敷跡駒返し坂など云ふ舊跡今猶存せり

根古屋の城趾

群馬郡片岡村に連續せる根古屋山上にあり昔時山本の郷と稱せしことあり前中納言匡房卿の古歌に

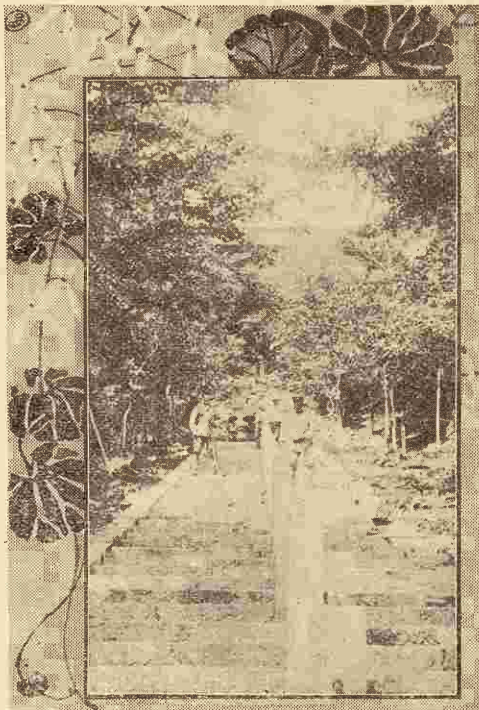
山本や佐野の船橋なか／＼に樂しき事を聞き渡る哉

箕輪城趾

箕輪城は大永年長野伊豫守の所築にして榛名山の尾先を鑿り穿ちて構へたる要害頗る堅固の城なり加ふるに智仁無雙の勇將長野業政この城に據り上杉憲政を扶けて西上野を守り武田信玄をして毫も犯すこと能はざらしめ以て美名を後世に轟したる名城なりしが子息業盛に至り信玄の爲め遂に落城せりかゝる名城なりしかば徳川氏の天下を統一するに及び井伊直政に賜はりしに慶長三年直政城を高崎に移されしより廢城となれり

清水寺

群馬郡片岡村觀音山頂にあり由緒詳ならざれども人皇五十一代平城天皇の御宇大同三年征夷大將軍坂上田村麿東夷征討の當時勸請すと云ふ現今の堂宇は寛文十一年十月再建して安藤重治の勸進する所たり堂内田村堂には高崎藩士小坂戦死者の木像を合祀せり山上より一眸せば高崎



全市は指呼の間にあり高燥の勝地にして清山川の美眺望の佳天然の好遊地たり試に水聖石橋を渡り南方十五町を緩歩せば山麓寺に達す登山一瞥の勞に價す

小祝神社

當社は延喜神名式に上野國片岡郡一座小祝神社とあり今群馬郡片岡村大字石原村半田に坐せり陽成天皇の元慶四年五月正五位勳十二等を授けられたる古社にして祭神は少彥名命に坐す抑當社は安産の

守護神として古來より信仰するもの多く妊婦は神社に詣て、腹帯を拜借し安産すれば報賽の禮として社前に粟穂を捧ぐるを例とす明治の制郷社に列せらる

山名八幡社

高崎の東南壹里拾八町蕪川を帯び西方の丘上に八幡宮あり多野郡八幡村内山名村の中央に位す由緒詳ならざれども山名氏の勸請と云ふ間庭念流の元祖樋口十郎左衛門此社に祈願して劔道の奥義を極め之を試さんが爲めに枇杷の木刀を以て大石を割りしことありとて今尚ほ人口に膾炙しつゝあり其石門前の〇〇〇側に現存す當社は小兒蟲除の神なりとて毎年十月十五日參拜者群集す

少林山

碓氷郡にあり鼻高村の丘上に少林山達摩寺とて堂宇あり艱蠶の成熟を祈り開運を祈願せんが爲め毎年一月七日には縣下の各地より登山するもの引きも切らず群集す商估露店を張りて眼無し達摩を嚮く人々購ひ歸りて幸福を祈り若し吉事あれば眼球を印して之を賽す本市を距る壹里餘

寺尾の城趾

群馬郡片岡村大字寺尾村茶臼山にあり往昔新田義重の所據にして後應永五年八月十三日上野の宮方協力して尹良親王を向へさせ玉へり今村内字館と云ふ地に大隠と稱する地あり之親王の漸時潜居し玉ひし地にして王隠ならん

八幡の八幡宮

碓氷郡八幡村に宮あり高崎市より板鼻に通ずる國道の北方丘上に森嚴たる杉樹を以て圍繞せらる當社は上野一社にして村上天皇の天徳元年の鎮座と云へり前九年の役源の義家凱陣を祈られしと云ふ又今現存せる隨神門は源頼朝の建立と云ひ傳ふ

田中琴平神社

當社は勸請年月詳ならず高崎の藩臣寺田五右衛門の勸請と云ふ無格社なれども毎月十日參拜者頗る群集せり明治四十一年村社稻荷神社を合併してより村社稻荷神と公稱し琴平の神をば合殿とす

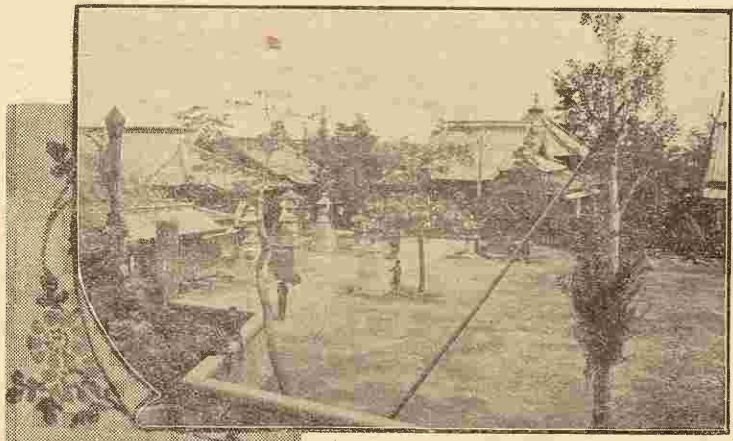
成田山

成田山高崎出張所は其本山下總國成田町にあり成田山新勝寺と號す明治十年其出張所を本市信徒

の希望に依り地を本市本町に創設し現今信徒三千餘名となり私有境内貳千貳百坪を有せり明治卅六年中成田山あるの故を以て成田町と名命を得るに至れり境内には數種の樹木植へ四時の風景に富り例月廿七、八日縁日は參拜者織るが如くにして毎歳節分會には參會者多數にして最も繁盛を極むるに至れり

各宗寺院

○興禪寺 は下横町にあり曹洞宗にして白龍山東谷院と號す昔時十五石の朱印あり和田氏の菩提所



○威徳寺 は慈應山天休院と號す天台宗にして叡山の末寺成田町にあり
○石上寺 は宮本町にあり布留山性徳院と號す眞言新義派にして寺領二十三石の朱印あり箕輪より遷りたるものなりと
○大染寺 は眞言律宗にして東京湯島靈雲寺の末寺なり宮元町に在りしが明治七年熊ヶ谷町養平寺へ合併す

あり

○龍廣寺 は若松町にあり禪宗にして井伊直政の開基なり高崎山と號す群馬郡東明屋村龍門寺の末寺

○眞應寺 田町四丁目にあり眞言宗にして清玉山遍照院と號す

○正法寺 藏町にあり日蓮宗にして身延山久遠寺の末なり廣布山演祥院と號す

○大雲寺 九藏町にあり禪宗にして昔時寺領十五石五斗の朱印あり箕輪より遷れる寺院にして青龍山

洞珠院と號す

○普門寺 本町にあり眞言宗新義派にして蓮光山福壽院と號す明治五年十一月群馬郡井野村觀音寺に合併す

○法華寺 椿町にあり日蓮宗にして古昔箕輪の椿山に法華堂とてありしを此に遷す西郷山本行院と號す

す

○惠徳寺 赤坂町にあり禪宗にして寺領十五石五斗の朱印あり松隆山と號す

○長松寺 赤坂町の高地にあり禪宗にして拾石の朱印あり赤坂山と號す

○延娘寺 新町にあり眞言宗にして高野山大乘院の末寺なり寺領十三石の朱印あり吠瑠璃山正法院と

す

○玉田寺 中紺屋町にあり眞言宗新義派にして寺領十二石五斗の朱印あり眞珠山妙連院と號す

- 覺法寺 嘉多町にあり一向宗にして西本願寺の末寺なり至心山信樂院と號す
- 敬西寺 嘉多町覺法寺の門内にあり
- 向雲寺 下横町にあり禪宗にして寺領十二石の朱印あり東陽山と號す
- 安國寺 通町にあり淨土宗にして知恩院の末寺なり箕輪より遷れるものにして寺領十二石の朱印あり慈光山常照院と號す
- 大信寺 通町にあり淨土宗にして知恩院の末寺なり箕輪より遷れるものにして寺領百七石の朱印あり願行山峯巖院と號す構内に鎖の御靈屋の古跡あり
- 善念寺 元紺屋町にあり淨土宗にして法道山弘眞院と號す
- 法輪寺 羅漢町にあり天台宗にして羅漢山正覺院と號す

高崎商業會議所明治四十二年に於ける統計

議員數	特別議員	選舉人	被選舉人	總會席	議事件數	最近一ヶ年經費
三〇人	なし	八七人	三三五人	五	一二	一、七四八、〇〇〇

物價 (明治四十二年上半期) 高崎市

品名	建物名稱	一月	二月	三月	四月	五月	六月
玄米	壹石上	一五〇〇 <small>錢</small>	一四六〇 <small>錢</small>	一四二〇 <small>錢</small>	一四四〇 <small>錢</small>	一四六〇 <small>錢</small>	一四七〇 <small>錢</small>
	中	一四八〇	一四四〇	一四〇〇	一四二〇	一四四〇	一四五〇
	下	一四〇五	一四〇〇	一三五五	一三八五	一四〇五	一四一五
大麥	壹石地	六六〇	六六五	六六〇	六六〇	六九〇	七〇五
小麥	壹石同	九五〇	九八〇	一〇三〇	一〇三〇	一一五〇	一一五〇
大豆	壹石支那	七五〇	七五〇	七六〇	七六〇	七二〇	七二〇
小豆	壹石地	一〇五〇	一一五〇	一一〇〇	一一〇〇	一一八〇	一一八〇

清酒	壹石地	三九,000	三九,000	三九,000	三九,000	三九,000	三九,000
醬油	壹石同	二八,000	二八,000	二八,000	二八,000	二七,000	二七,000
味噌	壹貫目同	二九,000	二九,000	二九,000	二八,000	二九,000	二九,000
鯉節	十貫目約島	六五,000	六五,000	六五,000	六五,000	六五,000	六五,000
綠茶	百斤狹山	四八,000	四八,000	四八,000	四八,000	四八,000	四八,000
精糖	四温百斤精糖會社	一七,七六〇	一七,七六〇	一八,二七〇	一八,二七〇	一八,六六〇	一八,六六〇
精糖	三温百斤同	一六,八〇〇	一七,〇六〇	一七,二〇〇	一七,二〇〇	一八,四九〇	一八,五〇〇
瓜哇黃	双糖百斤瓜哇	一四,七〇〇	一四,七〇〇	一四,三〇〇	一四,三〇〇	一四,二六〇	一四,二六〇
臺灣糖	百斤臺灣	二二,六〇〇	二二,七〇〇	二二,七〇〇	二二,七〇〇	二二,八〇〇	二二,八〇〇
和鐵	壹貫目東京	五七〇	五七〇	五七〇	五七〇	五七〇	五七〇
洋鐵	壹貫目同	二八〇	二七〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇
銅針	壹貫目同	二九五〇	二九〇〇	二九〇〇	二九〇〇	二九〇〇	二九〇〇
丁銅	壹貫目同	二三〇〇	二三〇〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇
洋釘	壹貫目同	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
練ノ粕	壹圓ニ付	二五〇〇	二五〇〇	二六〇〇	二六〇〇	二二〇〇	二二〇〇

干鰹	壹圓ニ付房總	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
大豆粕	壹圓枚支那	一三五〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
油粕	(菜種)十貫目地	二五〇〇	二五〇〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇
麻	百斤吾妻	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇
琉球表	壹束沖繩	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇
美濃紙	壹束美濃	一,九〇〇	一,八五〇	一,八〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇
延紙	壹縮土佐	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
石油	壹箱	四,一〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇
水油	四斗入壹樽伊勢	一五,二〇〇	一五,一五〇	一三,六〇〇	一三,〇〇〇	一三,〇〇〇	一三,〇〇〇
藍玉	壹駄地	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇
晒木綿	壹反伊勢	三,三〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇
生木綿	同地	四,〇〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇
手拭	同大阪	三,三五〇	三,三五〇	三,三五〇	三,三五〇	三,三五〇	三,三五〇
晒金巾	壹釜英産	五,九〇〇	五,八〇〇	五,八〇〇	五,八〇〇	五,七〇〇	五,七〇〇
生金巾	同同	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	五,六〇〇	五,六〇〇	五,六〇〇

生糸九貫目壹個	上座	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇
生糸九貫目壹個	中座	三九〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇
生糸九貫目壹個	下座	三八〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇
繭 壹圓二付	地	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
玉繭 同	同	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
食鹽 三斗入壹俵	古積	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
牛肉 百斤	地	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
鷄卵 百個	同	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
牛乳 壹升	同	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
梅干 四斗入壹樽	同	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇
澤庵十六貫目入壹樽	同	二,五〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇
石炭 壹噸	上州寺尾	三,八〇〇	三,八〇〇	三,八〇〇	三,八〇〇	三,八〇〇	三,八〇〇
薪 拾貫目	地	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
木炭 拾貫目	本堅	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇
藁 拾貫目	地	〇,二〇〇	〇,二〇〇	〇,二〇〇	〇,二〇〇	〇,二〇〇	〇,二〇〇

紡績綿絲百斤	東京	三,七〇〇	三,七〇〇	四,〇〇〇	三,九,三五〇	三,六,三〇〇	四,〇〇,〇〇〇
洋產綿絲百斤	英	五,二〇〇	五,二〇〇	五,二六〇	四,九,七〇〇	四,八,七〇〇	五,〇〇,〇〇〇
線綿百斤	支那和產	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇八〇	三,〇,八〇〇	三,〇,八〇〇	三,三,五〇〇
生絹壹疋	高崎	三,八〇〇	三,八〇〇	三,八〇〇	三,五,〇〇〇	三,六,〇〇〇	三,七,〇〇〇
生太織同	同	五,〇〇〇	四,五〇〇	四,三,五〇〇	四,二,五〇〇	四,二,五〇〇	四,二,五〇〇
花色絹壹疋	同	五,〇〇〇	四,七,五〇〇	四,五,〇〇〇	四,五,〇〇〇	四,五,〇〇〇	四,六,〇〇〇
紅絹壹疋	高崎	四,〇〇〇	三,八,〇〇〇	三,八,〇〇〇	三,七,〇〇〇	三,八,〇〇〇	三,九,〇〇〇
松尺角二間物一本	碓氷	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇
同 杉一本	同	六,五〇〇	六,五〇〇	六,五〇〇	六,五〇〇	六,五〇〇	六,五〇〇
松六分板一坪	同	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇
杉 同	同	七,五〇〇	七,五〇〇	七,五〇〇	七,五〇〇	七,五〇〇	七,五〇〇
杉四分板同	同	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇	七,〇〇〇
家根板同	同	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇
栗枕木壹挺	同	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇	九,〇〇〇
松丸太壹本	同	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇

杉丸	太同	地	三,五〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇
樺尺	角同	同	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
樺尺	角同	同	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇

物價

明治四十二年下半年期

高崎商業會議所

品名	建物名稱	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
玄米	壹石上	一四,六〇〇	一四,五〇〇	一三,五〇〇	一三,九〇〇	一三,五〇〇	一三,〇〇〇
玄米	壹石中	一四,四〇〇	一四,三〇〇	一三,三〇〇	一三,二〇〇	一二,七〇〇	一二,六〇〇
玄米	壹石下	一四,〇五〇	一三,九〇〇	一二,九五〇	一二,三五〇	一二,二五〇	一二,〇〇〇
大麥	壹石地	五,六〇〇	五,五〇〇	五,二五〇	五,二〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇
小麥	壹石同	一〇,〇〇〇	一〇,五〇〇	一〇,三〇〇	一〇,六〇〇	一一,〇〇〇	一一,〇〇〇
大豆	壹石支那	九,〇〇〇	九,五〇〇	九,六〇〇	九,〇〇〇	八,七〇〇	八,五〇〇
小豆	壹石地	一三,三〇〇	一三,八〇〇	一三,六〇〇	一三,〇〇〇	一一,〇〇〇	一〇,七〇〇
清酒	壹石同	三六,〇〇〇	三六,〇〇〇	三六,〇〇〇	三七,〇〇〇	三六,〇〇〇	三六,〇〇〇
醬油	壹石同	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇

味噌	壹貫目同	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,〇〇〇	二九,二八〇
鯉節	十貫目約島	六五,〇〇〇	六五,〇〇〇	六五,〇〇〇	六五,〇〇〇	六〇,〇〇〇	五五,〇〇〇
綠茶	百斤	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇
清糖	四溫百斤精糖會社	一八,四〇〇	一八,五〇〇	一八,五〇〇	一八,五〇〇	一八,七〇〇	一八,七〇〇
精糖	三溫百斤同	一七,三〇〇	一七,四〇〇	一七,四〇〇	一七,四〇〇	一七,六〇〇	一七,六〇〇
瓜哇黃	双糖百斤瓜哇	一四,四〇〇	一四,四〇〇	一四,四〇〇	一四,三〇〇	一四,四〇〇	一四,四〇〇
臺灣糖	百斤臺灣	二八,〇〇〇	二八,〇〇〇	二八,〇〇〇	二七,〇〇〇	二八,〇〇〇	二八,〇〇〇
和鐵	壹貫目東京	五,七〇〇	五,六〇〇	五,六〇〇	五,五〇〇	五,五〇〇	五,五〇〇
洋鐵	壹貫目同	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇	二,五〇〇
銅針	壹貫目同	二八,〇〇〇	二七,五〇〇	二七,五〇〇	二七,〇〇〇	二七,五〇〇	二六,八〇〇
丁銅	壹貫目同	二,二〇〇	二,二五〇	二,二五〇	二,二〇〇	二,二〇〇	二,二〇〇
洋釘	壹貫目同	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	三,九〇〇	三,八〇〇
鯨	粕壹圓二付北海道	二,二〇〇	二,三〇〇	二,三〇〇	二,三〇〇	二,三〇〇	二,四〇〇
干鰯	壹圓二付房總	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,五〇〇	五,五〇〇	五,五〇〇
大豆粕	壹枚支那	二,二五〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,二〇〇	一,七〇〇	一,三〇〇

油粕(菜種)十貫目	地	二,三〇〇	二,三〇〇	二,三〇〇	二,二五〇	二,二五〇	二,二五〇
麻	百斤	三,五〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇	四,一〇〇	五,一〇〇	五,一〇〇
琉球表	壹束	三,八〇〇	三,八〇〇	三,八〇〇	三,七〇〇	三,六〇〇	三,五〇〇
美濃紙	壹束	一,八五〇	一,九〇〇	一,九〇〇	一,九〇〇	一,九〇〇	一,九〇〇
延紙	壹縮	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
石油	壹箱	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇一〇	四,〇一〇
水油	四斗入壹樽	一,三〇〇	一,三〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇
藍玉	壹駄	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇
晒木綿	壹反	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇
生木綿	同	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇
手拭	同	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇
晒金巾	壹釜	五,七〇〇	五,七〇〇	五,八〇〇	五,七〇〇	五,七〇〇	五,七〇〇
生金巾	同	五,六〇〇	五,六〇〇	五,七〇〇	五,六〇〇	五,六〇〇	五,六〇〇
生糸九貫目壹個	中座	三,六〇〇	三,七五〇	三,六〇〇	三,五〇〇	三,六〇〇	三,七五〇

繭	青圓二付	地	三,七五〇	三,八〇〇	三,九〇〇	三,九五〇	三,九〇〇
玉繭	同	同	三,一八〇	三,二〇〇	三,二〇〇	三,二〇〇	三,一八〇
食鹽	三斗入壹俵	古積	二,八五〇	二,八五〇	二,八五〇	二,八五〇	二,八五〇
牛肉	百斤	地	二,八〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇
鶏卵	百個	同	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	二,七〇〇	二,六〇〇
牛乳	壹升	同	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇
梅干	四斗入壹樽	同	五,六〇〇	五,六〇〇	五,六〇〇	五,三〇〇	五,三〇〇
澤庵	十六貫目入壹樽	同	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	三,五〇〇	三,五〇〇
石炭	壹噸	上州寺尾	二,八〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇
薪	拾貫目	地	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇
木炭	拾貫目	本堅	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇
藁	拾貫目	地	一,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇	一,五〇〇
紡績綿絲	百斤	東京	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,一〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇
洋産綿絲	百斤	英	五,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇

線綿	百斤	支那和産	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
生絹	壹疋	高崎	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
生太織	同	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
花色絹	壹疋	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
紅絹	壹疋	高崎	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
松尺角	二間物一本	確水産	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
同杉	一本	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
松六分板	一坪	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
杉	同	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
杉四分板	同	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
家根板	同	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
栗枕木	壹挺	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
松丸太	壹本	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
杉丸太	同	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000
樺尺角	同	同	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000	三六,000

縦尺角	同	同	五,000	五,000	五,000	五,000	五,000	五,000
-----	---	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------

職工賃錢 (明治四十二年前半期) (高崎市)

職別	給與有無	三 月			六 月		
		最高	普通	最低	最高	普通	最低
農作年雇	女男	四,000	三,500	三,000	四,000	四,000	三,500
農作日雇	女男	二,500	二,000	一,800	三,000	二,500	二,000
養蠶職(日給)	女男	二,500	二,000	一,800	三,000	二,500	二,000
蠶糸繰	女	三,500	三,000	二,500	三,500	三,000	二,500
米搗	同	三,500	三,000	二,500	三,500	三,000	二,500
塗師	同	六,500	五,500	四,500	六,500	五,500	四,500
飾師	同	七,000	五,000	四,000	七,000	五,000	四,000
袋物職	同	一,000	七,500	五,000	一,000	七,500	五,000
和服職	同	六,000	五,000	四,000	六,000	五,000	四,000

高崎市商工業内

醬油製造職	日雇人夫	鳶(仕事師)職	版摺職	活版(植字)職	ペンキ職	桶職	綿打職	鍛冶職	鑄物職	車製造職	馬具職	靴職	下駄職	菓子職
月給	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
賄給與	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
、	六〇〇	、	五〇〇	七〇〇	、	七五〇	五〇〇	四〇〇	八〇〇	、	一〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
、	三〇〇	、	四〇〇	五〇〇	七五〇	六〇〇	三五〇	三〇〇	五〇〇	七〇〇	七五〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
、	四〇〇	、	三〇〇	三〇〇	、	四〇〇	二五〇	二五〇	三〇〇	、	五〇〇	三〇〇	二五〇	二五〇
、	六〇〇	、	五〇〇	七〇〇	、	七五〇	五〇〇	四〇〇	八〇〇	、	一〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
、	三〇〇	、	四〇〇	五〇〇	七五〇	六〇〇	三五〇	三〇〇	五〇〇	七五〇	七五〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
、	四〇〇	、	三〇〇	三〇〇	、	四〇〇	二五〇	二五〇	三〇〇	、	五〇〇	三〇〇	二五〇	二五〇

高崎市商工業内

植木職	石工職	建築具職	壘刺職	經師職	指物職	同製造職	煉瓦積職	家根職	瓦葺職	左官職	大工職	木挽職	染物職	洋服職
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
、	、	、	、	一〇〇〇	、	八〇〇	一〇〇〇	九〇〇	一〇〇〇	、	、	、	六〇〇	一〇〇〇
七五〇	八〇〇	七五〇	八〇〇	七五〇	七五〇	六〇〇	八〇〇	七五〇	八〇〇	八〇〇	七五〇	七五〇	五〇〇	七五〇
、	、	、	、	五〇〇	、	五〇〇	六〇〇	六〇〇	七〇〇	、	、	、	三〇〇	五〇〇〇
、	、	、	、	一〇〇〇	、	八〇〇	一〇〇〇	九〇〇	一〇〇〇	、	、	、	六〇〇	一〇〇〇
七五〇	八〇〇	七五〇	八〇〇	七五〇	七五〇	六〇〇	八〇〇	七五〇	八〇〇	八〇〇	七五〇	七五〇	五〇〇	七五〇
、	、	、	、	五〇〇	、	五〇〇	六〇〇	六〇〇	七五〇	、	、	、	三〇〇	五〇〇

袋物職	和服職	洋服職	洋物職	染物職	木挽職	大工職	左官職	瓦葺職	家根職	煉瓦積職	同製造職	指物職	經師職	壘刺職	建具職
日給	無給與	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
1,000	600	1,000	600	600	0	0	0	1,000	900	1,000	800	0	1,000	0	0
750	500	750	500	500	750	750	800	800	750	800	600	750	750	800	750
500	400	500	300	300	0	0	0	700	600	600	500	0	500	0	0
1,000	600	1,000	1,000	600	0	0	0	1,000	900	1,000	800	0	1,000	0	0
750	500	750	500	500	750	750	800	800	750	800	600	750	750	800	750
500	400	500	300	300	0	0	0	700	600	600	500	0	500	0	0

壯氏	下男	下女
月給	同	同
同賄給與、	同	同
8,000	3,500	2,500
、	3,000	2,000
、	2,500	1,500
、	3,500	2,500
、	3,000	2,000
、	2,500	1,500

職工賃錢 明治四十二年下半期 (高崎市)

職別	農作年雇	農作日雇	養蠶職(日給)	蠶糸繰女	米搗	塗師	飾
別	女男	女男	女男	日給	同	同	同
賄及衣服給與有無	賄給與	同	同	無給與	賄給與	無給與	同
最高	4,000	3,500	4,000	400	0	650	700
普通	3,500	3,000	3,000	300	350	500	500
最低	3,000	2,500	2,000	200	0	450	400
最高	4,000	3,500	4,000	400	0	650	700
普通	3,500	3,000	3,000	300	350	500	500
最低	3,000	2,500	2,000	200	0	450	400

石工職	日給	無給與	0	800	0	0	800	0
植木職	同	同	0	750	0	0	750	0
菓子職	同	同	500	400	250	500	400	250
下駄職	同	同	500	400	250	500	400	250
靴職	同	同	500	400	300	500	400	300
馬具職	同	同	1,000	750	500	1,000	750	500
車製造職	同	同	0	750	0	0	750	0
鑄物職	同	同	800	500	300	800	500	300
鍛冶職	同	同	400	300	250	400	300	250
綿打職	同	同	500	350	250	500	350	250
桶職	同	同	750	600	400	750	600	400
ペンキ職	同	同	0	750	0	0	750	0
活版(植字)職	同	同	700	500	300	700	500	300
版摺職	同	同	500	400	300	500	400	300
鳶(仕事師)職	同	同	0	700	0	0	700	0

日雇人夫	同	同	600	500	600	400	500	400
醬油製造職	月給	賄給與	0	5,000	0	0	5,000	0
杜氏	同	同	0	8,000	0	0	8,000	0
下男	同	同	3,500	3,000	2,500	3,500	3,000	2,500
下女	同	同	2,500	2,000	1,500	2,500	2,000	1,500

備考

○杜氏ハ五百石前後ヲ醸造スルモノヲ標準トス
 ○養蠶職并ニ蠶絲繰女ニシテ成績優等ナルモノハ賞與トシテ金品ヲ與ヘ尙ホ衣服ヲ給與スルコトアリ
 ○下男下女ニシテ勤勉ナルモノニハ夏冬ノ衣服ヲ與ヘ又ハ金品ヲ與ヘルコトアリ

明治四十二年末絹太織集散表

高崎附近	生	産	絹	八九、二五二	東	京	搬	出	絹	一〇〇、〇〇〇
太	織	地	織	五、〇〇〇	太	織	地	織	七、〇〇〇	

高崎市商工業内

年次	生産數量	價格
明治三十六年	三三五、八〇〇 _正	七七四、一二五、〇〇〇
同三十七年	二二六、一九〇	六七八、五七〇、〇〇〇
同三十八年	二四三、〇〇〇	七二九、〇〇〇、〇〇〇
同三十九年	二〇〇、四三〇	七〇一、五〇〇、〇〇〇
同四十年	一七五、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
同四十一年	一八〇、〇〇〇	七二〇、〇〇〇、〇〇〇
同四十二年	二一四、二五〇	七四九、八一五、〇〇〇

各市場

市場名稱	賣買品目	地位	開市日
市場	生絹太織	田町	每月五、十の日
絲市	生絲繭	末廣町	同三、八の日
種市	蠶種繭	本町	同三、八の日
青物市	野菜類	柳川町	同毎日、
魚市	魚類一切	新紺屋町	同毎日、

西の市雜

貨高崎神社内

十二月八日 二十日
廿五日 廿九日

上野鐵道株式會社明治四十二年旅客(貨)車收入表

驛名	明治四十二年四月より同年九月に至る		同年十月より明治四十三年三月に至る	
	客車收入	貨車收入	客車收入	貨車收入
高崎	八、五四六、八二	五、九九八、七	八、四〇二、七六	六、六二二、三六
山名	一、〇、四三三	一一〇、五〇	一、〇、六三三	三〇、二八
吉井	二、三〇三、五五	三三三、二八	二、〇八九、三七	三三三、三
福島	一、二四、一九	一七五、六二	一、〇三、〇六	二九、委
富岡	五、一九二、四五	六三、九七	四、九〇九、六六	六三、三三
一ノ宮	一、三〇、八四	四七、〇六	一、三六、七三	四七、二八
南蛇井	一、〇六、三〇	三七、四〇	一一七、七〇	三六、四五
下仁田	四、四九八、〇四	四、四九二、一一	四、四七三、七五	六、四七七、九七
雜收入	、	、	、	、
合計	一五、〇五、七三	二、八五九、八一	一四、五七九、二五	一四、八二、〇七

高崎市商工案内

高崎市貨物發着統計 (明治四十二年自一月至十二月)

到着貨物		送出貨物	
品名	數量	品名	數量
米	一五,二四〇 <small>正</small>	木材	四七五
肥料	七,〇〇七	薪炭	五,二二三
石炭	七,六〇六	石材	一,二七〇
砂糖	二,八七九	煙草	一,三三六
荳	一,九二三	繭	二六〇
陶器	九三	生糸	七〇
雜穀	二,八三〇	石油	六五
和酒	八三二	木皮	三五
鹽	一,八七四	雜穀	五元
石油	二,七〇〇	煉瓦	一三
鹽魚類	一,八四〇	其他	二,二〇七

甘藷	一七五	埼玉縣地方
醬油	一,一〇〇	秋葉原、佐野
木材	一,〇三五	信州地方
麥粉	一七三	秋葉原、館林
煉瓦	九二〇	深谷
セメント	九八	秋葉原
其他	二六一七	
合計	七,九七七	

合計 二六,七六三

明治四十二年自一月至十二月 高崎郵便局通信統計

種別	數量	種別	數量
普通郵便物	一,八〇八	電信	二三,八七六
小包	一,〇〇二	預着	一,一七五
外國小包	一,八七三	入金	三五,七六三
逓受市外	三,四〇〇	入金	一九,九八三
逓受市内	一,九四四	預拂	二,四四三
逓受市外	三,六八八	入金	三六,六六二
逓受市内	二,二六二	入金	四,四八八
逓受市外	一,四九	入金	三八,七五六
逓受市内		入金	六,六四七

高崎市商工業内

高崎市商工業案内

品名	賣拂數量	賣拂價格
大和	二七四	二〇、九六一、〇〇〇
朝日	三三九	二二、〇五二、〇〇〇
カネ	五九	三、五一〇、五〇〇
ナイル	一	六〇、〇〇〇
オリエント	八	六一二、〇〇〇
ラエリ	二四	二、一四二、〇〇〇
リッパ	六八	五、二〇二、〇〇〇
ゴールドンバット	四三二	二七、五四〇、〇〇〇
アマール	八	七六八、〇〇〇
スマタ	三	三〇六、〇〇〇
ほまれ	二	八五、〇〇〇
合計	三、五五一	二八三、三三〇、八五〇

同刻煙草の部

品名	賣拂數量	賣拂價格
水府	五	五一〇、〇〇〇
福壽草	三七	五、〇一五、〇〇〇
白梅	二四一	二二、七七六、二〇〇
さつき	五四九	三七、二六六、五五〇
あやめ	三七七	二二、五五七、八〇〇
はぎ	一七、五四一	七三五、三四八、六〇〇
なでしこ	一四、一九五	四四四、二二二、五五〇
薩摩	三	三〇六、〇〇〇
合計	三六、二八八	一、四八、九九二、七〇〇

備考 卷煙草のノ製造ナシ

明治四十二年中刻煙草製造高

區分	製造高
あやめ	九、九二八、三四〇 <small>タ</small>

高崎市商工業案内

高崎市商工案内

なは
合
で
計
ぎ

高崎倉庫株式會社明治四十二年度營業表

品目	預り	高	渡	高	現	在	高
生 絲	八八一、〇〇〇	〇〇〇〇	二二、一五二、〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
生 絹	三三、四〇〇	三三、四〇〇	三三、四〇〇	三三、四〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
春 繭	五、九三三、四一〇	五、九三三、四一〇	四、四〇〇、七七五	二、〇二二、二五五	三、九三一、一五五	一、〇六七、七六五	三、九三一、一五五
秋 繭	八三、六九三、〇五〇	八三、六九三、〇五〇	二八、七三三、八五〇	五、四七六、三〇〇	一、〇六七、七六五	一、〇六七、七六五	一、〇六七、七六五
延 繭	二、六八五、一二〇	二、六八五、一二〇	二、五八九、三六〇	二、五八九、三六〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇
繭 貫	八二六、九〇〇	八二六、九〇〇	四八〇、七四〇	三三、四〇〇	三、九三一、一五五	三、九三一、一五五	三、九三一、一五五
繭 數	二二、九一四	二二、九一四	一四、五〇四	一、四一七	八、一〇四	八、一〇四	八、一〇四
繭 保管價格	一八二、八七〇	一八二、八七〇	四八四、三〇〇	七三一、〇〇〇	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇
米 貫	一四二、二五〇	一四二、二五〇	一五、九一七	一、四一七	五九、〇八〇	五九、〇八〇	五九、〇八〇
米 袋	八七六、六〇〇	八七六、六〇〇	四、九一七	一、四一七	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇
米 保管價格	二二、九一四	二二、九一四	一、四一七	一、四一七	八、一〇四	八、一〇四	八、一〇四
外 國 米	一六、八五七	一六、八五七	四、五九四	一、四一七	七、九一〇	七、九一〇	七、九一〇
麥 俵	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇
麥 保管價格	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇
豆 俵	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇
豆 保管價格	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇
小 豆	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八
大 豆	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二
豆 保管價格	四、二一五、九〇〇	四、二一五、九〇〇	三、八〇一、四〇〇	三、八〇一、四〇〇	四、二一五、九〇〇	四、二一五、九〇〇	四、二一五、九〇〇

高崎市商工案内

品目	預り	高	渡	高	現	在	高
生 絲	八八一、〇〇〇	〇〇〇〇	二二、一五二、〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
生 絹	三三、四〇〇	三三、四〇〇	三三、四〇〇	三三、四〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
春 繭	五、九三三、四一〇	五、九三三、四一〇	四、四〇〇、七七五	二、〇二二、二五五	三、九三一、一五五	一、〇六七、七六五	三、九三一、一五五
秋 繭	八三、六九三、〇五〇	八三、六九三、〇五〇	二八、七三三、八五〇	五、四七六、三〇〇	一、〇六七、七六五	一、〇六七、七六五	一、〇六七、七六五
延 繭	二、六八五、一二〇	二、六八五、一二〇	二、五八九、三六〇	二、五八九、三六〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇
繭 貫	八二六、九〇〇	八二六、九〇〇	四八〇、七四〇	三三、四〇〇	三、九三一、一五五	三、九三一、一五五	三、九三一、一五五
繭 數	二二、九一四	二二、九一四	一四、五〇四	一、四一七	八、一〇四	八、一〇四	八、一〇四
繭 保管價格	一八二、八七〇	一八二、八七〇	四八四、三〇〇	七三一、〇〇〇	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇
米 貫	一四二、二五〇	一四二、二五〇	一五、九一七	一、四一七	五九、〇八〇	五九、〇八〇	五九、〇八〇
米 袋	八七六、六〇〇	八七六、六〇〇	四、九一七	一、四一七	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇	三〇〇、九二〇
米 保管價格	二二、九一四	二二、九一四	一、四一七	一、四一七	八、一〇四	八、一〇四	八、一〇四
外 國 米	一六、八五七	一六、八五七	四、五九四	一、四一七	七、九一〇	七、九一〇	七、九一〇
麥 俵	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇
麥 保管價格	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇	二、八五三、八〇〇
豆 俵	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇
豆 保管價格	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇	一、九三〇、六〇〇
小 豆	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八	一、三七八
大 豆	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二	一、〇一二
豆 保管價格	四、二一五、九〇〇	四、二一五、九〇〇	三、八〇一、四〇〇	三、八〇一、四〇〇	四、二一五、九〇〇	四、二一五、九〇〇	四、二一五、九〇〇

木	葉鐵原板	錫罐詰	海產物	鯉節	蒟蒻粉	麵重
炭	板	箱	物	節	粉	麵
保管價格	保管價格	保管價格	保管價格	保管價格	保管價格	保管價格
俵數	捆數	箱數	捆數	捆數	俵數	函數
三六二 一五〇 〇〇〇	六六二 二八〇 〇〇〇	四一五 〇〇〇	四四八 〇〇〇	二一 五九〇 〇〇〇	二 九〇六 〇〇〇	二 八〇二 〇〇〇
三二五 〇〇〇	二八〇 〇〇〇	〇五〇	一六〇	〇〇三 〇七四	〇〇七 〇三六	一 三六七
三四〇 〇〇〇	九〇〇 〇〇〇	二四九 〇〇〇	一七三 〇〇〇	一 八二〇 〇〇〇	一 九〇七 〇〇〇	二 八〇二 〇〇〇
三二五 〇〇〇	一 九〇〇 〇〇〇	〇三〇	〇六二	〇〇五 〇〇六	〇〇四 〇三六	一 三六七
一七五 〇〇〇	一 四八〇 〇〇〇	一六六 〇〇〇	二七四 〇〇〇	七九 〇〇〇	九三 〇〇〇	〇
〇	〇	〇二〇	〇九八	〇〇二 〇二六	〇〇三 〇三六	〇

生蠟	綿類	煙草	雜肥	練粕	小麥粉	雜穀
蠟	類	草	料	粕	粉	穀
保管價格	保管價格	保管價格	保管價格	保管價格	保管價格	保管價格
俵數	捆數	捆數	俵數	俵數	袋數	俵數
一 二八八 〇〇〇	一 五五八 〇〇〇	二 九〇 五〇〇	一 〇〇 三九四	一 四 二九三	一 五 二三〇	八 六 九〇〇
〇〇一 〇四二	〇〇〇 〇〇〇	五 八 七	三 〇 〇四	二 〇 二八	三 七 七六八	〇 八 三九
七六八 〇〇〇	一 四 四三	二 一 〇八七	五 七 二三八	一 四 一三七	二 九 〇四〇	八 六 九〇〇
〇〇〇 〇〇〇	〇〇三 〇〇二	五 二 九	一 四 七六	一 四 〇〇	二 四 五八八	〇 七 三九
〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇 七 三九
二八八 〇〇〇	一 〇 九〇	八 四 二八	五 一 五八	六 〇 〇四	二 七 七二	四 〇 〇〇
〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇 〇 〇〇

高崎市商工案内

雞	票	一三、七八三、七五	一〇七、九七二、五一
赤	鹿	五、三〇四、二五	四〇、五〇一、七二
無	標	九、二五〇、九〇	六六、七三七、七九
傷	糸	三三三、二五	一、九二三、四三
再	口	四六、〇〇	三三八、七一
合	計	四七五、五五八、三六	三、八四八、四〇一、五八
受	計	七五、一〇五、六八〇	
精	計	六九、三八九、五〇九	五、五五

製糸百匁ニ付

五、五五

同 社機械製糸斤量及賣上金高

羽	子	板	出荷斤量	賣上金高
毬	票	票	一八、五〇一、〇〇	一六五、五七二、二八
提	票	票	一九、三一二、〇〇	一六七、六六三、〇〇
提	票	票	三、五一五、二五	二七、五三二、七〇
提	票	票	二、四七九、七五	二〇、九九一、一三

甘樂社製糸高及賣上金額表 (明治四十二年度)

同	二	等	三、二七八、五〇	二七、一一六、三九
同	三	等	九八七、五〇	七、七六五、五六
細	提	燈	二、五三八、五〇	二一、二五六、四〇
固	着	票	一〇〇、〇〇	七五九、九一
無	商	票	八七一、七五	六、八一三、八七
縞	糸	糸	一九、五〇	一一〇、五一
再	口	口	八、五〇	六二、六五
合	計	計	五一、六一三、〇〇	四四五、六四四、四〇
受	計	計	八一、八〇〇、〇七	
精	計	計	七七、六九六、三九〇	五、七四

糸量百匁ニ付

五、七四

種類

斤量

金額

握 手 字

二八、五六九、六七六
七五、〇六三、五三二

二六一、三六三、四五〇
六五〇、七六〇、五六〇

高崎市商工案内

米	銀	青	墨	ケ	米	銀	米	銀	青	墨	無	拔	疵	轉
字	字	字	字	ル	ル	ル	銅	扇	扇	扇	標	扇	標	操
九五〇七〇、五四六	一〇八、六九八、四九〇	六〇、二五二、四三一	二〇、七五三、二九一	一一、三九〇、一九一	一五、二八七、八七五	二、三三四、九四五	八三二、五〇〇	三、一五四、六四九	二、二七三、〇九五	一、三八五、九五八	四、六七三、九二〇	一、五四九、二五〇	八八七、〇五〇	五九、二七二
七九九、八七九、〇一〇	八七一、四六八、一七〇	四六八、二六四、五五〇	二一九、九三七、六七〇	九二、六五七、六六〇	一二二、六五六、五六〇	一七、八四〇、七八〇	六、三六五、二八〇	二四、一三六、四二〇	一六、八七九、八一〇	一〇、一〇八、四六〇	三五、四二九、五五〇	一一、七三七、二六〇	一、七五三、九三〇	四四三、六八〇

博覽會出品系
合計

三、九四七
四三三、二二九、六一八

三三二、三七〇
三、六一一、七一五、一八〇

明治四十二年度下仁田社製系統計表

金	銀	一	二	水	斑	三	金	銀	黑
桃	輪	桃	桃	牛	馬	桃	字	字	字
一二六	二九三	八八四	七二六	二六三	一五五	二九七	五〇二	二三二	七五
明治卅八年	同 卅九年	同 四十年	同 四十一年	同 四十二年	備考	受附高	出荷高	減量	賣上高一、七七五、六七九、一〇〇
二、一四一	二、六七二	三、一三五	三、六八九	三、八三六		三四、五二六、七二三	三四、四一八、五八六	一〇八、一二七	

最近五ヶ年間統計

一	本	指	一三
二	本	指	七九
無	標	二七	
傷	糸	二三	
合	計	三、六九五箇	

高崎市の金融

(○印ハ前半期ノ計算 △印ハ後半期ノ計算)

○金銀ノ出納

銀行別	入金高	出金高
株式會社高崎銀行	△〇 二、五〇八、三二五	二、七〇九、五四一
同 高崎積善銀行	△〇 四四三、二九八	四四四、〇八三
株式會社第二銀行高崎支店	△〇 一〇、六三二、七〇八	一〇、六五五、四八五
合名會社茂木銀行高崎支店	△〇 一六、三八四、七二二	一六、三六八、八四八
株式會社群馬商業銀行高崎支店	△〇 二、五七五、六〇六	二、五六六、二九三
同	△〇 四四三、二九八	四四四、〇八三
株式會社高崎銀行	△〇 七、七二一、一七七	七、七〇九、五四一
同	△〇 五、一三三、五三七	五、一三三、五三七
株式會社第二銀行高崎支店	△〇 一〇、六三二、七〇八	一〇、六五五、四八五
合名會社茂木銀行高崎支店	△〇 一六、三八四、七二二	一六、三六八、八四八
株式會社群馬商業銀行高崎支店	△〇 二、五七五、六〇六	二、五六六、二九三

出金高

○諸預リ金 (△印ハ前半期 ○印ハ後半期)

銀行別	總預リ高	總拂戻シ高	現預高
株式會社高崎銀行	△〇 七三二、九六七	五三三、四二六	一九九、五四一
株式會社高崎積善銀行	△〇 九三、〇〇四	六〇、四二四	三二、五七九
株式會社第二銀行高崎支店	△〇 二、一六八、四四〇	一、六一〇、七九二	六二二、六四七
合名會社茂木銀行高崎支店	△〇 四、六九七、二一七	三、九五八、四〇四	七三三、四〇〇
株式會社群馬商業銀行高崎支店	△〇 四、二六二、一七〇	三、四三三、六〇六	一一二、八一〇
同	△〇 二、六三六、四二四	一、九二二、〇二七	七三三、四〇〇
株式會社高崎積善銀行	△〇 一〇、七六七、七四〇	七〇、〇一〇	三二、六六九
株式會社高崎銀行	△〇 五、五一一、一六三	五二九、七五八	一八五、四八〇
株式會社高崎積善銀行	△〇 八、四〇九、〇二〇	三、四二四、六二〇	四七、一六四
株式會社高崎積善銀行	△〇 五、二八二、〇二六	二、八四一、五五〇	一四六、五二九
合名會社茂木銀行高崎支店	△〇 一、九六一、六八〇	七六二、四七六	三九一、九三二

銀行別

總貸高

返濟高

現貸高

銀行別	總貸高	返濟高	現貸高
株式會社高崎銀行	△〇 五五二、一六三	三六五、六八三	一八五、四八〇
株式會社高崎積善銀行	△〇 六九九、六四五	五二九、七五八	一六九、八八六
株式會社高崎積善銀行	△〇 八、四〇九、〇二〇	三、四二四、六二〇	四七、一六四
株式會社高崎積善銀行	△〇 五、二八二、〇二六	二、八四一、五五〇	一四六、五二九
合名會社茂木銀行高崎支店	△〇 一、九六一、六八〇	七六二、四七六	三九一、九三二

高崎市商工業内

株式會社群 高崎支店

馬商業銀行 高崎支店

三〇、八五五、三三〇
四二、一八七、三二〇

二四、八一三、三三〇
三四、八五四、〇九〇

○割引手形

銀行別	種類	手形		金		他	
		枚數	當	所	額	枚數	所
株式會社 高崎銀行	爲替手形	一、〇〇六	七二二、八四五、〇〇〇				
株式會社 高崎積善銀行	爲替手形	一、〇九〇	三四一、九〇七、七五〇				
株式會社 第二銀行 高崎支店	爲替手形	七六一	七一〇、八六五、〇〇〇	一、一〇一	二、四三〇、二二〇、〇〇〇		
合名會社 茂木銀行 高崎支店	爲替手形	一、六五六	一、九二五、七五八、八八〇	六九七	一、三三二、三〇六、〇六〇		
株式會社群 馬商業銀行 高崎支店	爲替手形	八九九	五五八、三六七、〇〇〇	七二	二、三、五七五、〇〇〇		

○荷附爲替手形

銀行別	枚數	各地へ向タル分		各地ヨリ受タル分	
		金	額	金	額
株式會社 高崎銀行	四	一六、四四七、二〇〇		一四四	五八、七二二、九七〇
株式會社 第二銀行 高崎支店	二四〇	二四八、八九〇、二七〇		六〇	二五、一八六、〇四〇

合名會社茂木銀行 高崎支店
株式會社群馬商業銀行 高崎支店

三〇五 三一八、五二三、七六〇
一二七 三〇、〇二二、九七〇

二、三九一 一、一二五、四七三、〇七〇
四四五 二四二、三五二、七六〇

○送金爲替手形

銀行別	枚數	各地へ向タル分		各地ヨリ受タル分	
		金	額	金	額
株式會社 高崎銀行	一、五三三	四八三、六七七、九三〇		一、六〇八	三五七、八一八、二九〇
株式會社 高崎積善銀行	三〇七	一七七、四七九、〇八〇		五一	四、一九七、二八〇
株式會社 第二銀行 高崎支店	三、四五一	二、四三四、四七五、一六〇		二、〇八四	一、二一一、七四四、八三〇
合名會社茂木銀行 高崎支店	八、〇三八	四、一一一、三〇一、七七〇		二、八一七	一、八七三、〇九五、七三〇
株式會社群馬商業銀行 高崎支店	二、〇四〇	五三九、七八〇、四八〇		一、九七一	六三一、一〇七、二〇〇

○代金取立手形

銀行別	枚數	當		他	
		金	所	金	所
株式會社 高崎銀行	四二七	一三八、〇八七、五七〇		一一五	二一三、八九九、八一〇
株式會社 高崎積善銀行	一五六	二二二、五五七、四七〇		一三四	三七、八八五、〇八〇
株式會社 第二銀行 高崎支店	一、一五二	六〇〇、五七八、七八〇		五七八	二九二、七九九、八九〇
合名會社茂木銀行 高崎支店	七八三	二七二、八七八、九九〇		一二三	三一、一九一、四四〇

高崎市商工業内

銀行別

月次

○金

利

貸付金日歩(百圓三付)

最高

最低

割引日歩(百圓三付)

最高

最低

合名會社
茂木銀行
高崎支店

一二月三月四月五月六月七月八月九月十月十一月十二月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
二錢八厘	二錢八厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢六厘	二錢六厘	二錢六厘	二錢五厘	二錢五厘	二錢五厘
二錢六厘	二錢六厘	二錢六厘	二錢五厘	二錢五厘	二錢五厘	二錢四厘	二錢四厘	二錢四厘	二錢四厘	二錢四厘	二錢四厘
二錢八厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢六厘	三錢	二錢八厘	二錢八厘	二錢八厘	二錢五厘	二錢四厘

株式會社
第二銀行
高崎支店

一二月三月四月五月六月七月八月九月十月十一月十二月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
一割五厘	一割	一割	九分五厘	九分五厘	九分五厘	九分五厘	九分五厘	九分	九分	九分	九分
九分	九分	八分五厘	八分五厘	八分五厘	八分五厘	八分	八分	八分	八分	八分	八分
二錢八厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢六厘	二錢六厘	二錢六厘	三錢	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘
二錢四厘	二錢四厘	二錢四厘	二錢二厘	二錢二厘	二錢二厘	二錢	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢二厘

株式會社
高崎銀行

高崎市商工業内

一二月三月四月五月六月七月八月九月十月十一月十二月
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢八厘	二錢八厘	二錢八厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘
二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢八厘	二錢八厘	二錢八厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘	二錢七厘
二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘
二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘	二錢九厘

商工業者

高崎市商工業内

商號並ニ電話番號

營業別	營業稅	營業所	商號	電話番號	氏名
糸商	二八、七五〇	大橋町	田中屋		田草川重太郎
同	五四、七五〇	田町	ふくたや	二五一	住谷常次郎
同	一〇六、七五〇	中紺屋町	和泉屋	二二七	荒井リウ
蠟燭商	六一、〇〇〇	本ノ部	松屋	一三一	櫻井仙次郎
時計商	二六、一二〇	本ノ部	結城屋		青木保太郎
同	一〇一、三五〇	田町	小松屋		松島平三郎
陶器商	四二、五〇〇	九藏町			高橋佐太郎

陶器商	二六、七五〇	九藏町	今戸屋		吉井捨五郎
同	三五、三七〇	田町	永徳屋		勝股清造
同	二〇九、四七〇	連雀町	萬屋	二二七	樋口清七
豆腐商	二九、八〇〇	新紺屋町			駒崎喜之助
茶商	二二八、六〇〇	本ノ部	水村	二二三	水村傳次郎
同	四七、六二〇	同	駒井屋		駒井廣吉
同	五六、二五〇	相生町	園釜久	三四七	中島新藏
同	六〇、六二〇	田町	豊田屋	一六六	豊泉倉之助
同	三二、〇〇〇	同	水本園		法師松五郎
同	六七、五〇〇	連雀町	金子屋	三七二	神山ナカ
綿商	四一、八七〇	本ノ部	金澤屋		本木兼太郎
同	八一、二〇〇	相生町	蛭子屋	二六〇	友松喜平

高崎市商工業内

乾物商	四八、〇二〇	本町	秋山萬吉
紙商	一九五、三七〇	同	横山文四郎
同	九五、〇〇〇	同	宮野金五郎
同	四七、一二〇	同	杉浦新三郎
同	二九、六二〇	同	大塚梅太郎
同	七九、三七〇	同	新井清兵衛
貸金業	四八、〇〇〇	本町	小林右兵衛
同	三一、五〇〇	常盤町	山田永五郎
同	四五、三〇〇	往吉町	小林定吉
同	二六、二五〇	柳川町	上宮覺太郎
同	二七、六〇〇	同	反町慎哉
同	二六、五〇〇	堰代町	樋口なか
同	三八、三七〇	田町	土橋彦五郎
同	一一二、五〇〇	同	吉田庄八
同	二五四、九〇〇	中紺屋町	木戸又三郎

貸金業	三二、〇〇〇	龍見町	伊藤良治
硝子商	二六、一〇〇	本町	坂本テウ
同	六六、七五〇	九藏町	戸塚常吉
同	一一八、七五〇	寄合町	横内兼太郎
同	四二、五〇〇	田町	笠原長次郎
菓子商	二五、〇〇〇	本町	米山守哉
同	二七、八七〇	常盤町	大塚長吉
同	三二、五〇〇	住吉町	鈴木善次郎
同	五五、五〇〇	相生町	相川鍋次郎
同	八七、五五〇	連雀町	浦野ヨネ
同	五八、三五〇	同	清水濱吉
同	二八、九二〇	同	岩崎新六
同	五六、二五〇	新町	大谷金之助
同	五一、七七〇	新田町	三浦元三郎
同	三〇、八七〇	同	田中順三

煙草商 三三三、三〇〇 田 一三四 平林新太郎
同 二九、〇四〇 鞆 町 宮田幸次郎

染絹商 一六〇、六五〇 本 町 松屋 五五 櫻井忠三郎
同 一二三、七五〇 田 町 山口屋 一二八 小澤吉平

同 五七、二五〇 同 町 菱屋 三四 小山真木太

同 一六七、五〇〇 新 町 吉野 三二 吉野藤一郎

同 二九五、七五〇 中 町 和泉屋 一二五 中島仙助

素麵製造業 二七、六二〇 常 町 盤 三三八 荻原德太郎

同 五〇、三七〇 本 町 小野屋 三三一 木暮竹次郎

染色業 四五、七五〇 九 町 藏 三三六 落合庄平

同 四一、三七〇 歌 町 川 竹屋 三三六 秋池金吾

同 三四、八七〇 大 町 橋 田村屋 二二六 濱村幸吉

同 九五、一二〇 相 町 生 田屋 四二二 吉村平七郎

同 三一、八七〇 同 町 同 界屋 四二二 境庄三郎

同 三六、八七〇 嘉 町 多 淀屋 二四六 落合孫平

同 二七、二五〇 寄 町 合 菊地屋 白井儀平

同 二六、二五〇 新 町 田 白井儀平

同 二八、〇〇〇 元 町 紺屋 京屋 向井鷲太郎

同 二五、七五〇 寄 町 合 橋本屋 山本藤四郎

同 二五、七五〇 嘉 町 多 橋本屋 落合兵三郎

煉油商 五一、一二〇 相 町 生 絹川屋 二二九 絹川嘉平治

魚類商 九七、三七〇 本 町 信柳 一四三 白田柳吉

同 四四、五〇〇 同 町 山口屋 一七〇 小澤松次郎

同 五九、二五〇 同 町 飛彈屋 二六六 田原金次郎

同 八四、六二〇 同 町 小山屋 四二四 荒木利兵衛

同 三四、五〇〇 同 町 角屋 四二四 佐藤金八

同 三三、八七〇 同 町 飛彈屋 米木常吉

魚類商	四二、一二〇	本町	魚啓	三五八	山田啓助
同	一〇〇、六二〇	同	淀屋	三三二	石田兵三郎
同	四七、五〇〇	赤坂町	福田屋		佐々木キセ
同	三二、三七〇	常盤町			高島熊吉
同	三六、一二〇	住吉町	中屋		宮川ミヤ
同	三〇、八五〇	相生町	大竹屋		大竹忠吉
同	二五、三七〇	新紺屋町	淀屋	三六一	金子榮三郎
同	五八、〇〇〇	田	今坂屋	二二七	今坂伊三郎
同	四九、二五〇	連雀町	今	四一一	田中與四郎
同	四二、六〇〇	同	今勇	三三五	上原勇次郎
同	三三、八七〇	新		三六	宮野辨次郎
請負業	七四、九七〇	新			井上友三郎
同	二七、五〇〇	同			澤木金之助
同	四一九、四二〇	南	小松川	四〇二	徳田鹿藏
同	九一四、八〇〇	八島町	川口屋	一四一	井上保三郎

同	六七〇、〇〇〇	元紺屋町	須賀	六一	飯塚佐吉
同	五二、五〇〇	同	須賀		飯塚權三郎
運送業	五四、三七〇	同		一七	福澤仁太郎
同	二六、二五〇	同		一〇九	小暮三代藏
同	五三、一二〇	同		二三	關口耕三郎
同	二五、六二〇	同		三〇五	笹本信三郎
同	七二、五〇〇	同		一〇	吉村甚兵衛
靴製造業	三七、二〇〇	鞆	よろづや		澁谷龜吉
ヤ		ノ			
藥種商	二九、五〇〇	本	尙生堂	三三四	福田福太郎
同	二二四、三七〇	九	山口屋	一一六	小澤宗平
同	三三、一二〇	同	大津屋	三五二	飯塚吉平
同	一四八、七五〇	赤坂町	大津屋	一一	瀧川喜平
同	一二三、七五〇	田	大津屋	一二三	相澤吉平

穀物商	二八、二五〇	大橋町	穀淺	三三三	田中政吉
	二七、六五〇	同			
	七二、五〇〇	同			
	六七、六七〇	住吉町	豐田屋	三三三	相川昇平
	一三五、一二〇	相生町	百足屋	一二三	白田信次郎
	一八七、五〇〇	同	島屋	六二	渡邊與喜知
	六三、七五〇	連雀町			増田格次郎
	九〇、九二〇	新町			佐藤八五郎
	五三、二五〇	同			山崎貞治
	一三三、五〇〇	新田町	澁澤		澁澤伊作
	一三七、〇〇〇	南町	織茂屋		富處常次郎
	三四、六〇〇	南町	江州屋		奥田兼次郎
	四九、八二〇	同	宮澤屋	二六九	宮喜作
	二五、三二〇	同	富士精米所	三二六	磯部庄作
	三六、一七〇	下和田町			矢島忠太郎
	三九、六〇〇	寄合町			宮川喜代次郎

同	二九、二五〇	宮元町	平彦	三四五	清水勘藏
同	二五一、八五〇	檜物町			平野彦八
同	三〇、九二〇	同	米金號		青木匡一
同	四五、七五〇	若松町		四〇五	田口利平
同	一五三、五〇〇	八島町	大野屋	一一四	石井伊三郎
同	二三一、二五〇	同		四一七	横山八百作
同	一一六、〇〇〇	旭町		二五六	室佐之吉
同	二二〇、五〇〇	同		一五	清水久次郎
同	三〇、〇〇〇	同	木村屋		木村林五郎
同	七一、八七〇	同			關口龜吉
小間物商	四二、八七〇	本町	若松屋		須田清太郎
同	三〇、五〇〇	新紺屋町	いつみや		金子織衛
同	四六、一七〇	田町	こくれ	一一二	木暮彌平
同	三九、七五〇	同	まつだ		松田金八
同	三一、五〇〇	連雀町	叶屋		山口豊八

生絹太織仲買商	三二〇〇〇	九藏町	繩屋	二九	小林竹藏
同	二二三、一二〇	田町	市田	二〇二	市田清兵衛
同	八三、七五〇	同	清水		清水關八
同	五一、七五〇	同	河内屋		關口忠三
同	四一、七五〇	同	須賀屋		須賀トヨ
同	三八、七五〇	同	鹿島屋		今井セイ
生絹太織仲買販賣業	九五、六二〇	同	糸屋		涌井善太郎
同	三七、一〇〇	同	鹿島屋		今井次八
同	四三、〇〇〇	同	澤屋	二二二	中島順之助
同	二五、三七〇	同	鞆町		田子億次郎
同	三九、七五〇	寄谷町	河内屋		山田明太郎
同	三二、〇〇〇	田町	河内屋		田中文次郎
同	二九、二五〇	同	半田屋		今井茂作
牛乳搾取業	二八、〇〇〇	請地町	早川搾乳所	二五〇	早川幸作
同	七二、七七〇	柳川町	栗本牧場		栗本信作

牛肉豚肉商	六一、五〇〇	新町	加藤平吉	三四一
味噌販賣商	三一、一二〇	常盤町	佐藤金次郎	
質屋商	五二、一七〇	赤坂町	西澤安兵衛	
同	三二、五〇〇	並榎町	岸市藏	
同	七五、五〇〇	住吉町	岸啓三郎	
同	三七、八〇〇	椿町	堀越慶太郎	
同	一一〇、〇〇〇	新紺屋町	田中新太郎	
同	二六七、〇五〇	柳川町	松山省	
同	二七、七〇〇	同	清水清七	
同	二九、〇〇〇	同	木部仙太郎	
同	三七、七五〇	北通町	矢内長三郎	
同	四七、五〇〇	中紺屋町	新井テ	
同	五一、五〇〇	同	深堀長四郎	

質屋商	二七、〇〇〇	鞘	町	花岡	伊平
同(紙)	三〇、〇五〇	寄合	町	湯淺	正平
同	二五、七五〇	同		高見澤	秀三
同	四五、三七〇	檜物	町	松岡	平吉
同	四九、〇〇〇	白銀	町	岸榮	太郎
自轉車商	二九、六五〇	本	町	木村	吉藏
同	二七、五〇〇	田	町	淺井	鎌太郎
同	三四、〇〇〇	連	町	岩崎	ヤス
漆器商	三一、九〇〇	本	町	山田	源右衛門
同	九二、五〇〇	田	町	中田	信久
同	六〇、六二〇	同		天田	安平
同	五〇、九二〇	同		石本	茂三郎
鹽魚商	七〇、二五〇	九	町	三井	田與八
書籍商	二七、〇〇〇	田	町	柴田	量平
薪炭商	二七、七五〇	連	町	磯村	音介

銃砲販賣商

銃砲販賣商	四六、五〇〇	鞘	町	吉澤	正則
醬油製造業	一六〇、六二〇	常盤	町	岡	宗一郎

肥料商

肥料商	三〇、七一〇	九	町	水出	健次郎
同	九〇、七五〇	末廣	町	石橋	安五郎
同	一七六、七〇〇	高砂	町	吉田	淺次郎

七 部

石油商

石油商	三五、七五〇	大橋	町	松浦	吉五郎
同	三六、八七〇	田	町	手塚	彌作
同	八八、五五〇	連雀	町	高木	吉次
同	九七、三七〇	新田	町	岩田	政次郎
同	一七二、五〇〇	旭	町	小林	健吉
同	三六、八七〇	住吉	町	矢川	仙藏
同	三三、七五〇	新	町	藤澤	清七郎
同	五五、〇〇〇	八島	町	籠島	みさ

石油部四一
三五六

石炭商	三五、〇〇〇	旭町	一七一	大川小藏
西洋裁縫業	二五、二五〇	宮元町		土田久藏
製糸業	四二、一七〇	住吉町		井田源太郎
	六一四、四五〇	並榎町	三七三	橋本清七
	六六、三五〇	住吉町		山口徳次郎
	二六、八七〇	末廣町		山田松藏
	九二、二五〇	山田組		須藤市之助
	三〇、六二〇	若松町		森橋福次郎

會社ノ部

營業種類	營業稅	資本金額	所在地	社名
電氣の供給	一、八七〇、七七 <small>圓</small>	八〇〇、〇〇〇 <small>圓</small>	高崎市常盤町	高崎水力電氣株式會社
運輸業	二、一八七、一七	六〇〇、〇〇〇	同 鶴見町	上野鐵道株式會社
銀行業	八〇〇、九〇	三〇〇、〇〇〇	同 寄合町	株式會社高崎銀行
	五〇七、八〇	一〇〇、〇〇〇	同 田町	株式會社高崎積善銀行

倉庫業	三三〇、一七	五〇、〇〇〇	同 旭町	高崎倉庫株式會社
生絹太織貫繼染 絹太織卸賣	二四三、〇七	五〇、〇〇〇	同 寄合町	中島合資會社
烟草卸賣	四〇〇、〇七	三五、〇〇〇	同 谷町	高崎烟草合資會社
吳服太物商	一一一、九〇	二五、〇〇〇	同 九藏町	合資會社淺見商店
運送業	二七、八〇		同 八島町	信榮合資會社
新聞雜誌販賣業	九五、〇〇	五〇〇〇	同 新町	高崎新聞雜誌株式會社
肥料卸賣	一二二、五〇	未詳	同 本町	帝國德用肥料株式會社
染色業	六五、五三		同 住吉町	田村合名會社
貸金業	一五〇、〇〇		同 柳川町	山崎合資會社
銀行業	未詳	一、五〇〇、〇〇〇	同 九藏町	株式會社第二銀行高崎支店
	未詳	一、〇〇〇、〇〇〇	同 九藏町	合名會社茂木銀行高崎支店
	未詳	一、〇〇〇、〇〇〇	同 田町	株式會社群馬商業銀行高崎支店

高崎新聞雜誌株式會社統計表

新聞種類

新聞種類

高崎市商工業内

東京	報知	時事	中央	萬朝	都新	二六	中外	大阪	計
朝日	新聞	新聞	新聞	報	新聞	新聞	新聞	新聞	貳千〇〇參枚
新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	

縣下に於て發刊するもの

上野	種
日々	類
新聞	
聞(前橋)	

東京	每日	國民	東京	日本	讀賣	每夕	橫濱	計
新聞	電報	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	貿易	貳千〇〇參枚
新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	新聞	

上州	種
新聞	類
聞(前橋)	

上毛
計 壹千貳百貳拾七枚
タ イ ム ス (高崎)

西野
新聞(足利)



明治四十三年九月二十日印刷
 明治四十三年九月廿五日發行

編輯兼
 發行人

高崎市田町三十五番地

須藤定吉

印刷所

東京市小石川區久堅町百八番地

精美堂

印刷人

東京市小石川區久堅町百八番地

吉野貞治

高崎市田町三十五番地

發行所
 高崎商業會議所





內國通運株式會社高崎支店

創立明治五年六月
資本金百廿五萬圓

高崎市八島町五十八番地

內國通運株式會社

高崎支店

電話一〇番

優等酒

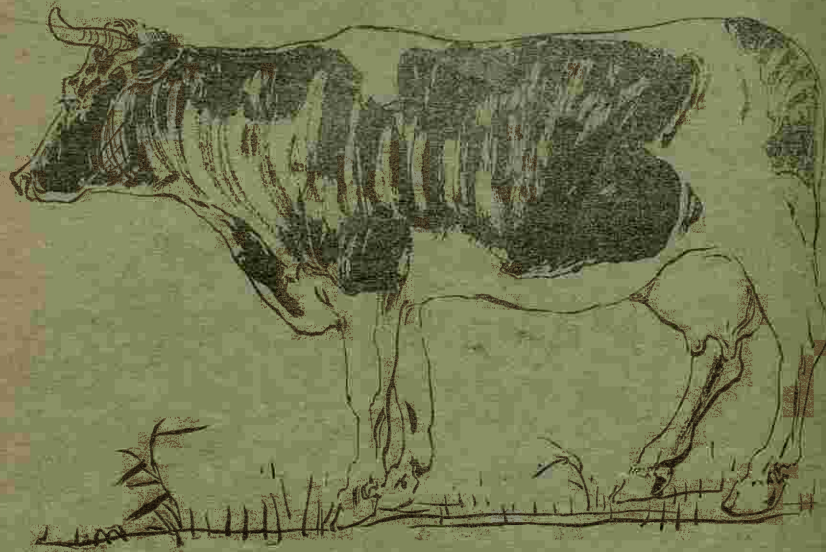
YOSHI-IZUMI.

上陽高崎市

釀造元 山崎政次

電話五百五十五番

當牧場產優等動物



ホルスイタニ種

畜牛蕃殖賣買
牛乳搾取販賣

栗本牧場

(電話二五〇番)

- 一本場ハ高崎停車場ヲ距ル十餘丁ノ西端風光明媚ノ地ニアリ、
- 一本場ハ本邦畜産ノ改良發達ヲ期シ優等動物ノ產出ヲ目的トス、
- 一本場産ノ動物ハ健康無比ニシテ從ツテ其販賣スル純良牛乳ハ汎ク江湖ノ信用ヲ博スル所以ナリ、



營業品目

和洋建築用具
和洋地金類
鐵丸釘鐵板
平板生子板
打及物大工道具
スコブ、シヤメル
珞珈引鍋類
鑄物鍋釜類
諸國砥石類
アルミニウム各種
細工物各種
鎮銻小金物
度器販賣

上州高崎市本町一丁目

商號 福田屋



小保方商店

電話四十八番
發信畧號(〇七)
振替口座壹參四參參番

和洋染糸一式
絹糸卸類

高崎市中紺屋町

和泉や糸店

電話(三二二七)

御進物用絹糸調進仕候



MATSUMOTO
TAKASAKI

販賣品
帽子類、毛織物類、洋傘類
夏冬外套類、吾妻コト類
靴類、鞆類、小供三輪車、乳
母車類、洋服附屬品一式
最新流行の品々取揃（仕立）
く候旨多少の拘り御注
文仰せ下され願ひ申

高崎市田町三丁目
絹市場角
歐米雜貨商
松本榮之助商店

生魚鹽魚卸小賣

高崎市新町六拾六番地

宮野辨次郎

電話 三六番
電器 (イ) 又ハ (ヘン)

資本金壹百萬圓 (拂込濟)
積立金六拾五萬九百圓 (平三年一月現在)

無限責任社員

支配人

茂木惣兵衛
茂木保平
松尾好國

高崎市九藏町貳拾番地

營業種目
定期預金 當座預金
特別當座預金 當座貸越
定期貸付 商業手形割引
擔保手形割引 荷爲
各地送金 代爲取立
貴重品保護預 其他銀行一般業務

允 合名 茂木銀行高崎支店

電話番號(參番)電信略號(夕七)
振替貯金口座(東京毫參番。番)

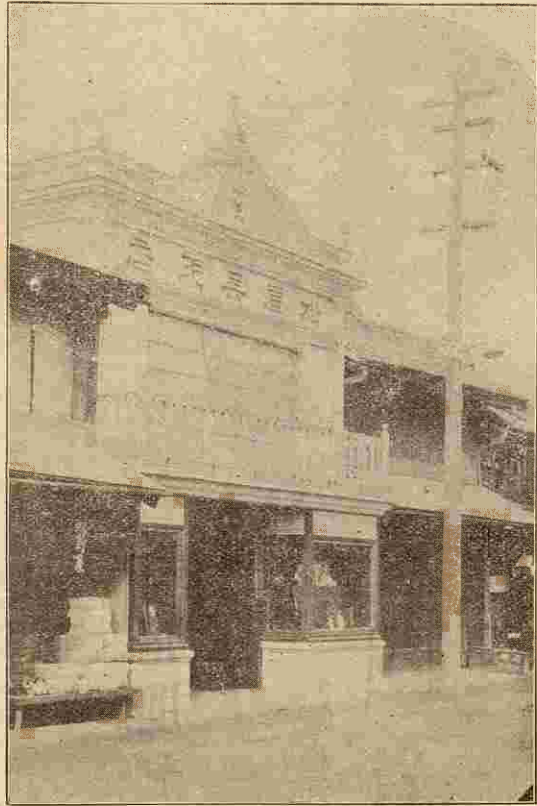
爲換取組先ハ全國樞要ノ地ニ有之各地送金ハ無手續料ニテ御取扱可申候
高崎倉庫株式會社預證券ニ對シ精々御辨用可申上候
當銀行ハ確實ヲ主トシ商業ノ發達ト御便宜トナ計リ候間多少
ニ拘ラス御取引被下度奉願候

株式會社

高崎市寄合町

高崎銀行

電話 六 番
振替 四四四一 番



モシモシ

着物を買ふには

田町の松屋に限ります
皆さん澤山お召ください

正

松屋呉服店

松本庄平

高崎市田町 電話二六六五番

味洋御菓子舗



太陽堂

高崎市

寄合町角

電話

百十七番

加納良吉商店

鮮魚 諸海 產物 肥料 問屋

群馬縣高崎市連雀町

今田中與四郎

電話四一一番
電器(タナカ)又八(ヨ)



石油、肥料、石炭商

高崎市通り町六十二番地

ハ 岩井彌平商店

電話三〇三番

昭和十五年

鮮魚 卸小賣 御祝儀 膳部 料理 折詰

高崎市田町壹丁目

陸軍御用商人

今坂屋本店

電話二三七

電器イマイ

高崎市九藏町

正 小松屋銅鐵舖

鋏桑葉扱器發賣元

電話五十四番
電器(コシヨ)

機 械
 石 橋
 允
 茂 木 装 修 場
 高 崎 市 末 廣 町
 主 管 堀 平 清 七
 (支 店)

商 肥 產 海 內
 店 料 諸 陸 外

允
 石 橋 安 五 郎

高崎市末廣町第卅六番地

Japanese Refined Sake

醸造元



高崎市本町
小竿本家



標商用專

皇國
特選之逸品

精釀
本家

吉康

KIKKEY



最優等清酒吉康

販賣品
和洋酒類
味增醬油

小竿本家

高崎市本町
電話三一九番

目品

業管

銘食
茶塩

肥米
料穀

※
中
中村商店

高崎市四屋町

電話三百〇一
三九八台ナリ又ハナ



高崎市田町甲二十二番地
株式會社 **高崎積善銀行**

電話七番

銀行業務一切
精々御便利に
取扱ひ可申候

但各地送金は無手数料

井。

傳勢屋漆器店

精造大勉強

箭佐美術不全報彫刻師查
河婚禮道具膳碗器具其他一式

群言外高崎市田町二十丁目

電話三三三三番

七島并に
三備表

質兼豊表商

高崎市九藏町



岸

龜

吉

電話四十三番



門專
堅牢紅染

紅
吉村平七

上毛高崎市相生町五番地

電話貳貳六番
電 零 ヨ シ

海 產 物
委 托 問 屋



信濃屋號

高 崎 市 本 町

白 田 柳 吉

電話百四十三番
電畧ウスタ又ハリウ

和洋紙商

橫 山 文 四 郎

高 崎 市 本 町

電話第三百二十番
振替口座三三九二番



和洋系類組紐
洋物雜貨卸商

高崎市田町壹丁目角

龜升屋

小林元次郎商店

電話百四十四番電畧カメモ
振替口座二千八百三十七番

ナシヨナル

兔月石鹼群馬一手特約店

虎印メリヤス

特約店



株式會社

群馬商業銀行

●創立 明治三十三年六月

●資本金 壹百萬圓

監督 安田善三郎

頭取 安田善衛

支配人 若菜福朗

●銀行一般の營業向き出精取扱申候

本店 (電話五五) 佐波郡伊勢崎町

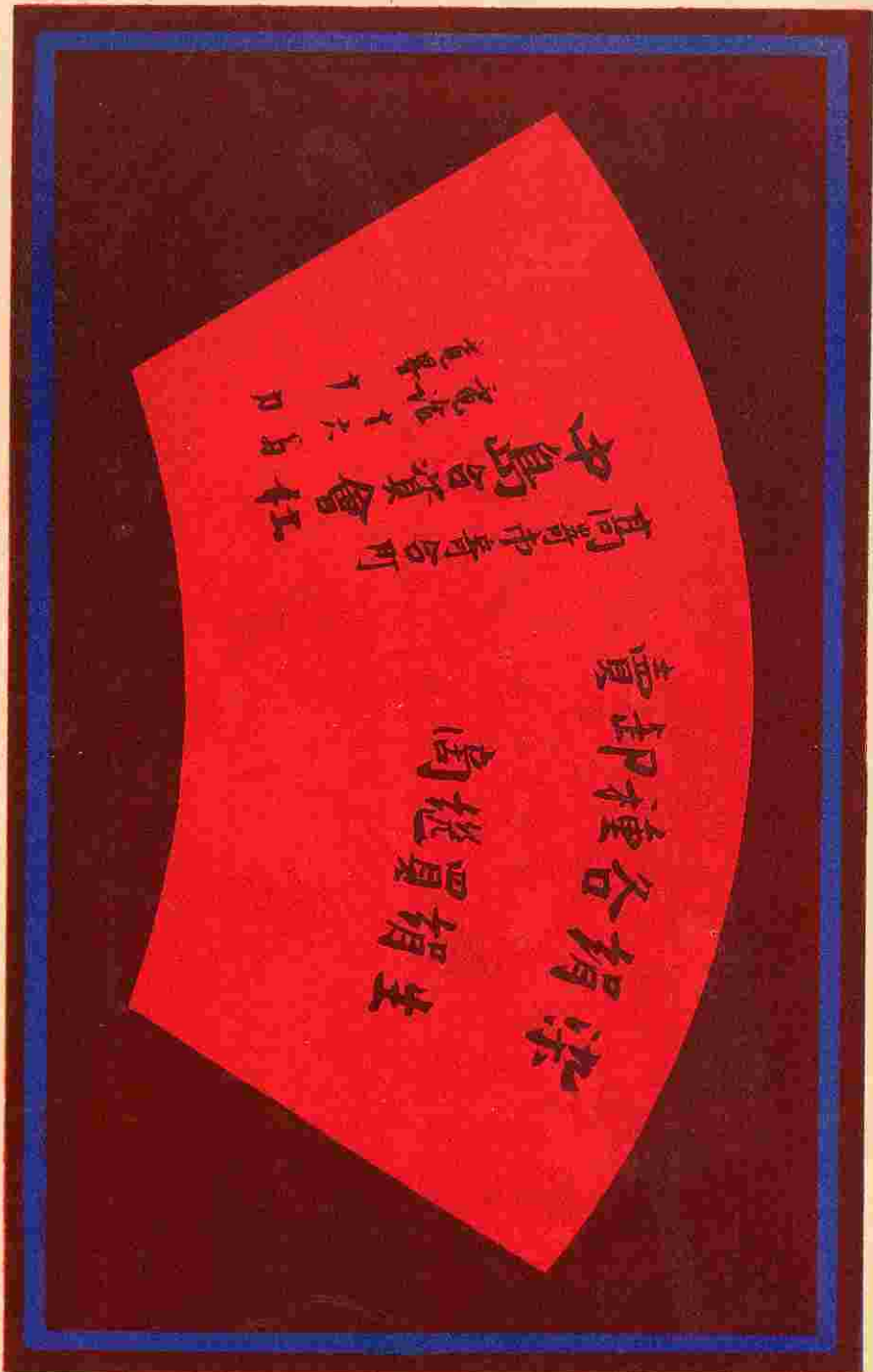
前橋支店 (電話二二七) 前橋市本町

高崎支店 (電話二三八) 高崎市田町

境支店 佐波郡境町

藤岡出張所 多野郡藤岡町

●各地送金無手数料



標

商

中島仙助

漆絹太織卸賣商
生絹太織買継商
高崎市中紺屋町

(電話百二十五番)
(電信畧号 一)

漆絹太織卸賣商

中島仙助出張店

(電話浪花百二十五番)
(電信畧号 卜一)
(東京日本橋区大傳馬町)



吉村工場

業字 目名

油類
鞆印

石油
糖油

正

本店 小林弥七商店

百足店号

電話 二百五十五

扭育スタンダード石油會社
販賣代理店

高峯市本町寺丁目

◎高崎水力電氣株式會社

○本社所在地 高崎市常盤町共

電話高崎一八

一 資本金 八拾萬圓

一 事業 電燈及電力供給
電氣軌道運輸業

一 發電力

八百「キロワット」

一 補充電力

箱島三百「キワット」

一 創立 立ロ

明治三十六年

六月廿五日



◎供給區域

高崎市 前橋市 倉賀野町
岩鼻町 新町 藤岡町
本庄町 深谷町 上敷免町
熊谷町

惣社町 (折原變壓所)

社 長 須藤清七
監査役 小澤宗平
取締役 瀧川文二郎
井上保三郎
住谷喜三郎
櫻井仙次郎
新井米吉
松山省
竹内清次郎
山田昌吉
小島彌平
金山鐵吉郎
松本平藏
小島仙太郎
主任技術者

内外米雜穀肥料問屋

高崎市檜物町
平野彦八商店
(電話三百四十五番)

高崎市本町
平野新次郎商店
(電話加設中)

種 蠶 國 委
商 托 委

蠶卵臺紙蠶具一式

高崎市本町三丁目



白田多賀作

電器(ウスタ)又ハ(ウ)

產 物 陸 海
商 托 委



號屋足百

高崎市九藏町

三井田與八

電話三百拾壹番
電器(ミイタ)或ハ(ミ)



裁縫學校や補習で用ゆる品が揃へて有る

親切で勉強で掛直なしですから安心して買物ができます

裁縫附屬品

卸針一式

糸類一式

御進物用絹糸箱入調進仕り候

高崎市本町

森小森糸店

糸を買なら小森に限り品がよくつて引つよく

其色々賣て居ますから極便利の店のす



瀧川 産

瀧川 産



瀧川支店

東京日本橋區本町二丁目
電話 日本局九四六番

藥産貿易局
英國ロンドン、アングロサクソンコンデンスミルク會社製
銀瓶、平コンデンスミルク 日本一手捌

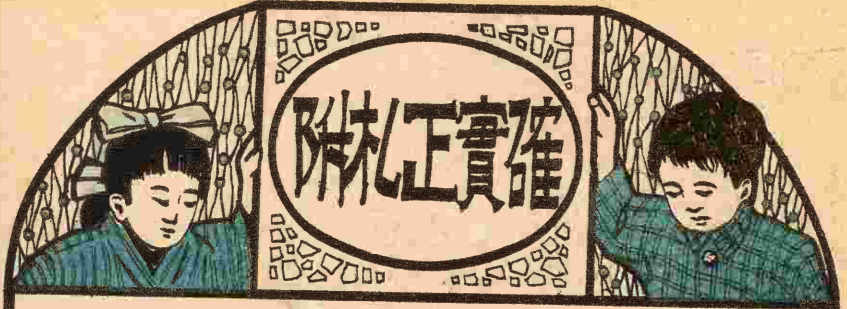


瀧川喜中本店

高崎市赤坂町四丁目
電話 一一百番

和漢洋藥種、信具、染料、洋酒、鏡、活版、字、真、材料 商店

大津屋號

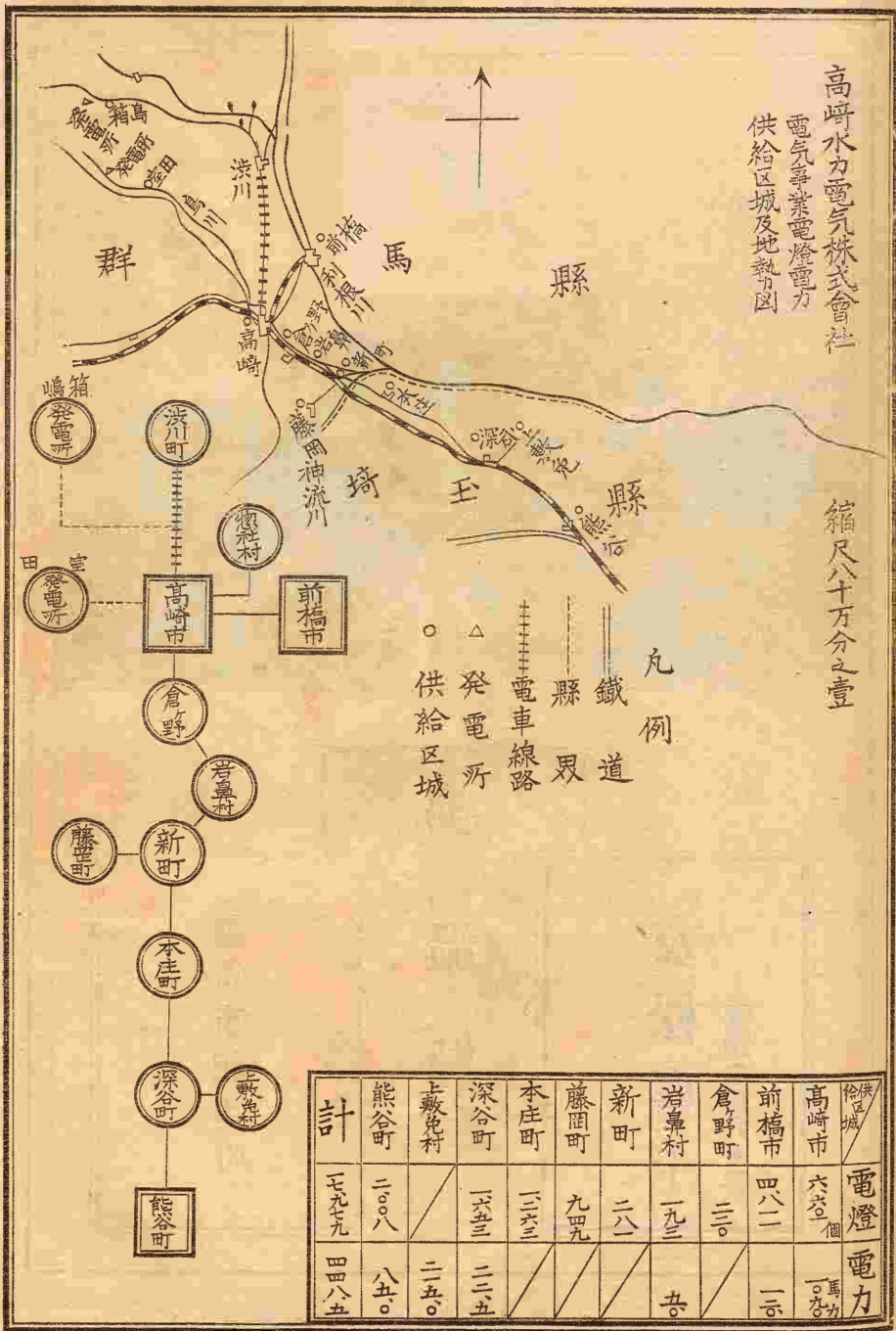


吉大黒屋呉服店

呉服、本物類
御祝儀物一式

高崎市丸花町

電話 一三番





和洋紙類文房具商

高崎市田町

電外産紙店

電話(四十九番)

高崎名所 備忘りき 昔切所

第十四師團御指定旅館

高崎市本町壹丁目
いてうや號

旅館

高橋源兵衛

電話 八番



綿、
温、
飴

友松喜平

電話二百六十番

高崎市相生町

械

機

麵類一形式

製造業
販賣業

⑦

荻原德太郎

高崎市常盤町
惠比壽屋號

麵

製

本

酒醬油味噌

酒醬油空樽

正宗空瓶

正宗ペーパ類一式

高崎市赤坂町

伊勢屋號

① 藤澤金作

本

本

本



染料精選
 意匠斬新
萬染物
 勉強廉價
 親切確實

名古屋製油株式會社

本島正椿油
 內外石油諸油
 煉油蠟燭砂糖
 特約大販賣
 鯨印菜種油



高崎市本町參丁目
 絹川屋號

小林新吉

電話三百拾四番
 電略キ又シン



櫻井忠三郎商店

染結卸賣
生結買繼商

高崎市本町
松屋號

電話 五五番

振替口座東京四四二

商卸絹染

商號出店

吉小澤吉平商店

電話二六
振替三六
口座三六
電略(廿)

萬 染 物 部
練 白 張 部



高 崎 市 嘉 多 町
淀 屋 號
落 合 孫 平 工 場

嶄新流行

御履物傘類式

卸小賣

替振標商話電
(番七〇六二) 久 (番二七二)

高 崎 市 田 町 壹 丁 目
松 屋 履 物 店

渡 邊 惣 藏

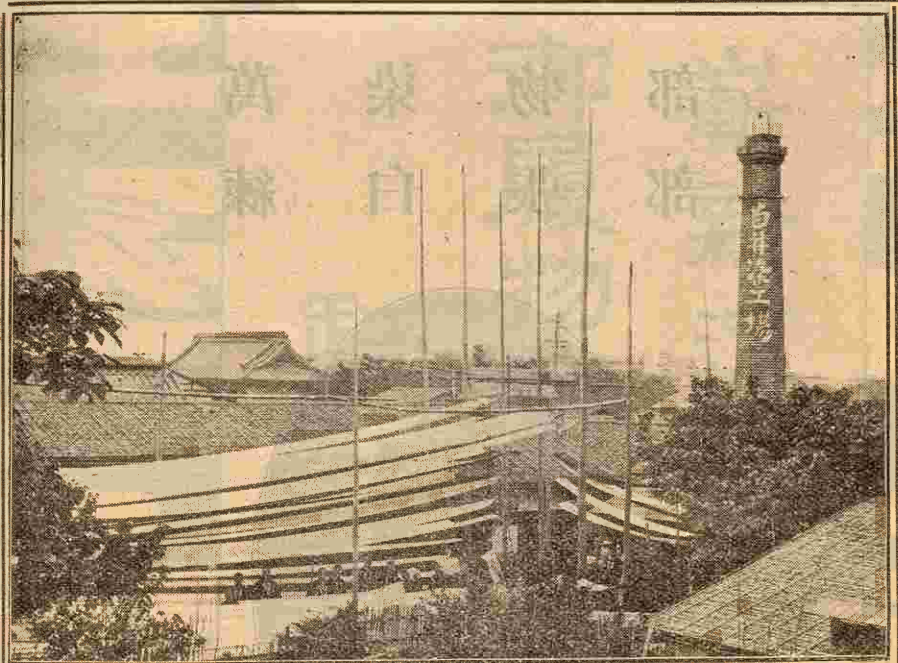
商標
命

堅牢
緋染専門

高崎市住吉町

田村朝次郎

電話貳拾七番



各種白張類

御祝儀模様物類

流行友禪小紋類

御印物類一式

本京花色類

正花勝色類

チン色物類

高崎市下横町

△白井染工場

白井慶藏

親切丁寧に致升

高崎市新田町

◇白井染工場

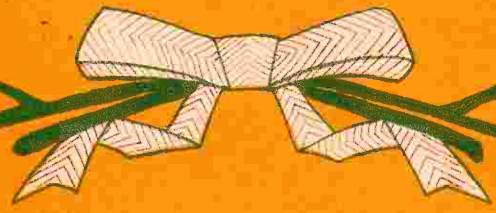
白井儀平



内外織物商

高崎市九藏町
 浅見合資會社

電話 二百四十四番



織太絹染

本店
 高崎市新町
 吉野藤一郎商店
 長電話 三十三番

支店
 東京市長谷川町新道
 吉野東京支店
 長電話 浪花四三番七番

營 業 目 的

生 絹 太 織 買 繼
 深 絹 無 地 物 各 種
 友 禪 更 紗 小 紋
 板 締 絞 石 持
 帶 皮 兵 兒 帶 類
 伊 勢 崎 織 物
 紹 羽 織 各 種

。 産地直接取引、輒近織物界趨
 勢ニテ自然割安品御買入ニ相
 成ル事ニ分季節品順々御指命
 被下度候

。 相場表御入用、仁ニ毎月一回
 當店ニテ發行スル吉野商報御
 申越次第郵呈ス

製材

材木商

高崎市末廣町

中中嶋慶藏

電話四〇三番

販賣



陶磁器

卸小賣

高崎市連雀町

樋口清七

電話二一七番
振替二〇六三番

吳服 太物 唐物 御祝儀 一式

足袋地類一式卸小賣販賣

高崎市田町二十七番地
三吉屋號



國峰源三郎

電話百〇六番

內外米雜穀肥料商

◎高崎市柳川町◎

中札入精白米販賣

市川朝次郎商店

◎電話三二八番◎



日英堂

營業品目

和食 洋食 洋酒 洋菓子
 食料 洋菓 洋酒 洋菓子
 食料 洋菓 洋酒 洋菓子
 食料 洋菓 洋酒 洋菓子

清水濱吉

本店高崎市連雀町 電話二〇三
 支店法川町上ノ町 電話四七
 振替貯金八五

西洋 傘
 帽子
 メリヤス
 ネル仕立
 西洋雜貨

△ 住谷龍造

高崎市田町
 福田屋號

萬 染 物



高崎市

九藏町

五十四番地

橋本屋

本家

落合庄平

電話 三百三十一番

營業品目

教育玩具一式

三五雛人形

地白張提灯並三道具

四季流行小物玩具

御國旗各種並附屬品

ス、行李、柳行李文庫類

日用雜貨品各種

夏期扇、團扇

ライター、齒磨

一手特約販賣

高崎市田町二丁目

亀杵屋本店

宮野久兵衛



電話 二百一十一番
振替口座東京三六六九番

和洋紙類文房具商

高崎市九藏町

太 大 和 屋 新 井 清 兵 衛

電話貳百〇八番
振替口座四三七四番

高寄名勝繪端書發行所

新發明簡易殺鼠劑
アンチムース
ANTIMUS.



一、「アンチムース」は本邦獨特之新發明なり
二、「アンチムース」は外國製の、コンモンセンス類に優る事數等なり
三、「アンチムース」は永久貯藏するも奏効確實にして變化なし

四、「アンチムース」は殺鼠の目的確實にして少量にて各種の鼠族を斃死せしむ
五、「アンチムース」の説明書及見本品は御一報次第進呈すべし

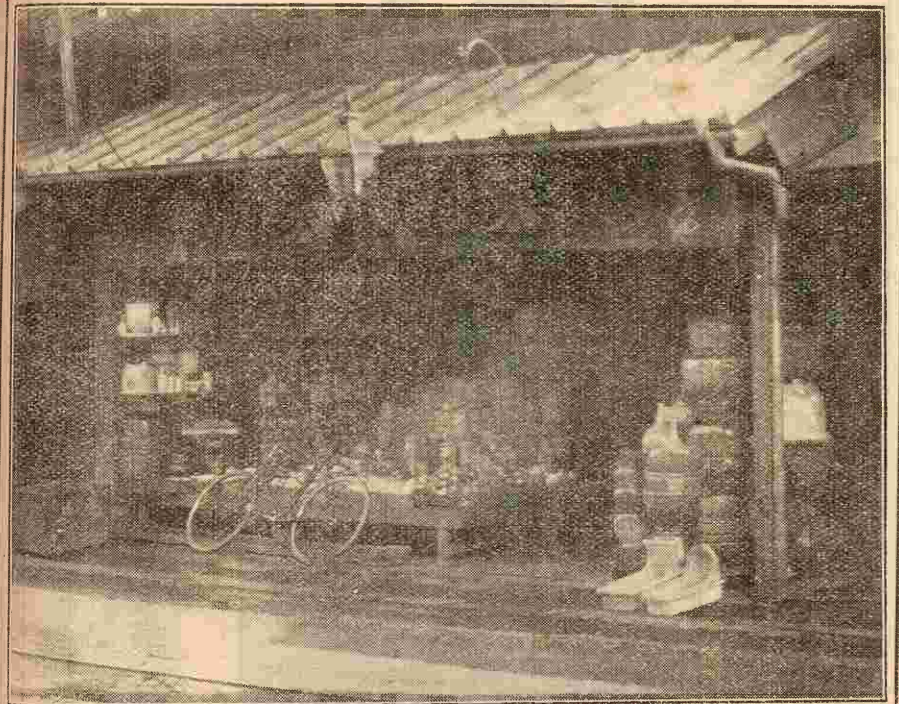
發明者 安田福太郎 藥劑師
日本製劑株式會社
東京區橋本南大工町一丁目
電話本局三六八七番

材木商

製材販賣

加中曾根金四郎

高崎市末廣町



陶磁器

卸小賣

群馬縣高崎市九藏町

小松屋號

高橋作次郎

(コサク又ハコ)

製材販賣

古久松材木店

舎 中曾根松五郎

高崎市末廣町

- 勸業貯蓄諸債券賣買
- 諸公債諸株式賣買
- 金銀地金賣買
- 諸有價證券擔保貸附金
- 右誠實に取扱申候

高崎市九藏町百六番地

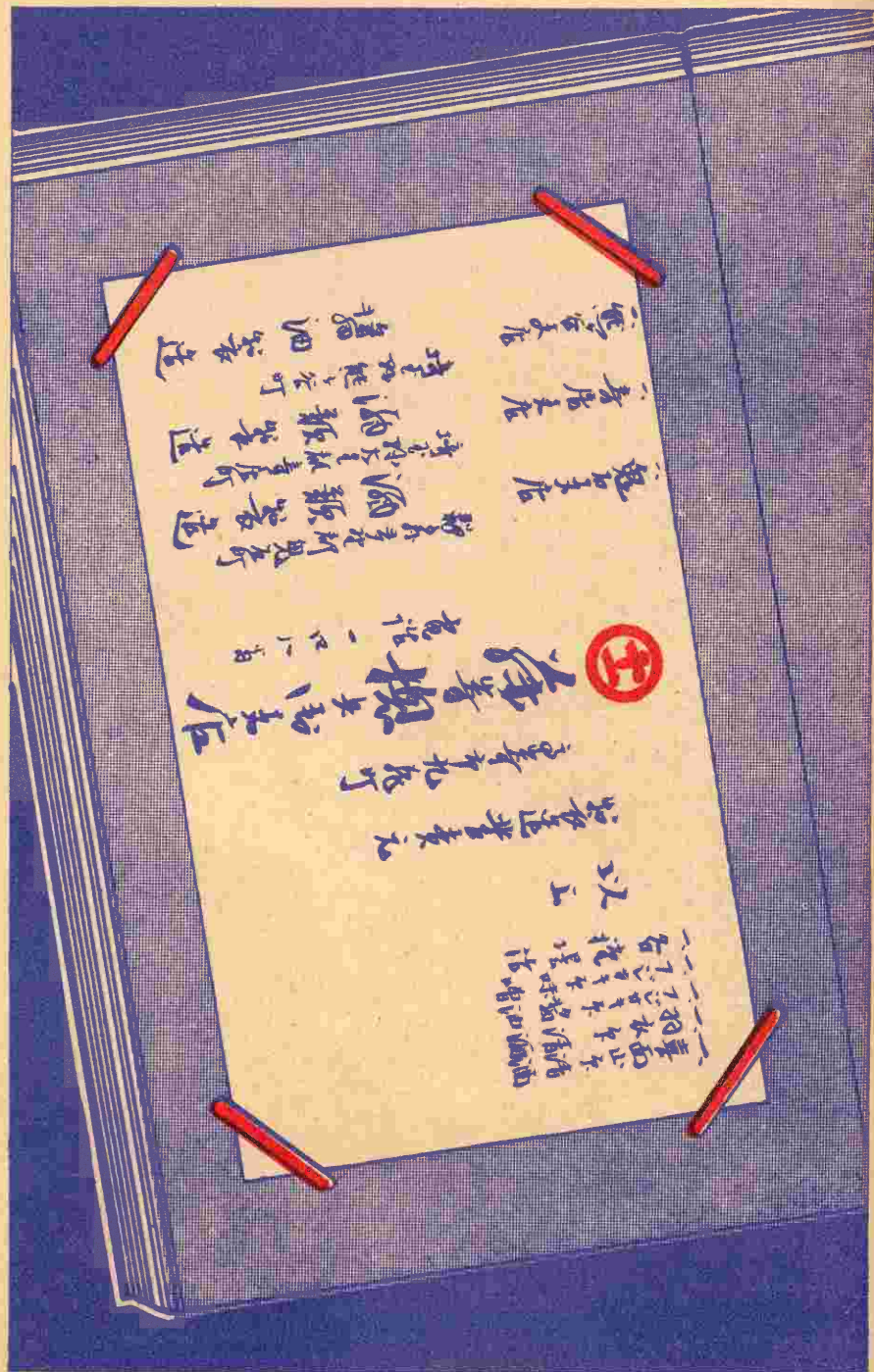
兩替店

平須藤清七商塵

電話 十九番

振替貯金口座東京五九五二番

- 帝國生命保險株式會社高崎代理店
- 東京火災海上運送保險株式會社高崎代辦店



膳 箆 長
 碗 筒 持

(御祝儀道具一式)

漆器
 問屋



天田屋安平

高崎市田町貳丁目

品評會
 壹等賞
 金牌受領ス

販賣品
 帽子類
 毛織物類
 メリヤス類
 夏冬外套類
 吾妻コート類
 洋傘靴類
 洋服裁縫

結 城 屋 店
 洋 洋 品 服

店主松島新七郎

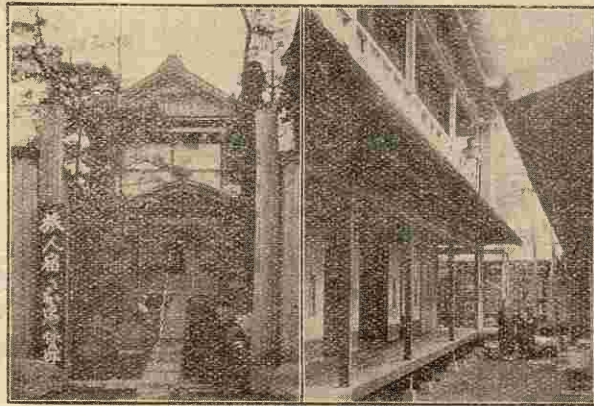
高崎市
 電話二四八
 九番町

米 雜 穀 食 塩 肥 科
 和 洋 小 麥 粉 販 賣

正

高崎市相生町
 白芝尾綿
 渡邊興吉

電話百二十二番
 高崎市相生町(又三)



高崎市本町 松谷保五郎
 電話 三六三番

商神は誠實に味方す



營業品目

藥種賣藥 洋酒鐘詰
 繪具染料 醫料機械
 建築材料 写真材料
 食料品類 醬油各種

特約品

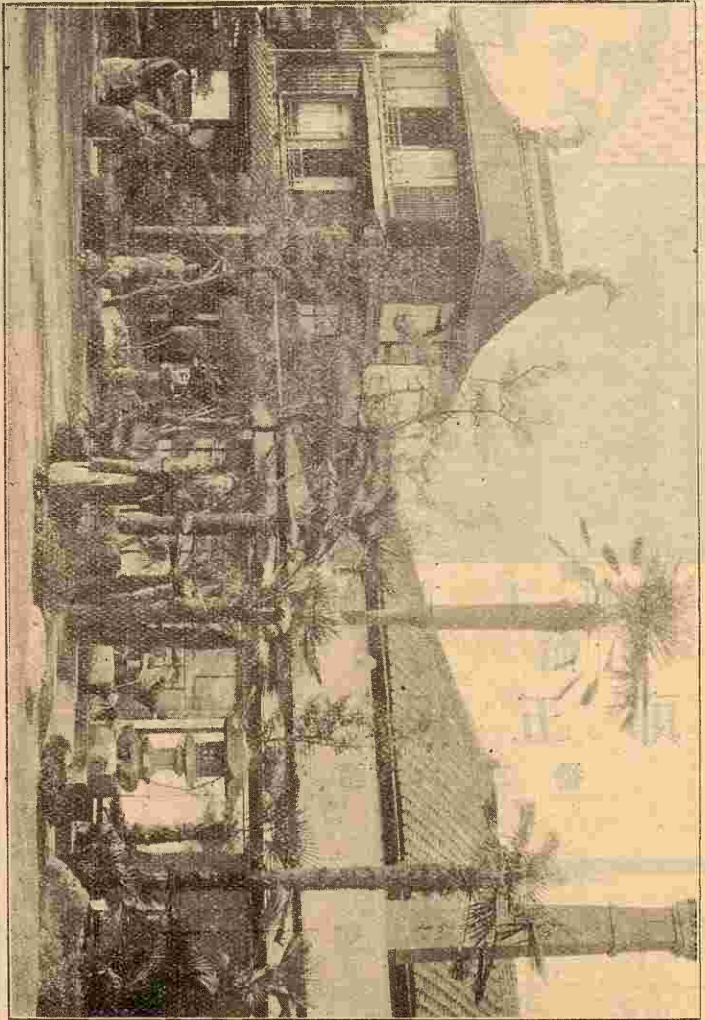
大日本麦酒株式會社製品
 帝國鑛泉株式會社製品
 キリンビール
 蜂印香鼠葡萄酒
 姫印サンピンサイダー

山崎屋 小澤宗平商店

高崎市九藏町二五三番地
 電話 百六十五番

館 旅 御

高崎館
電話三百三十三番



高崎市八島町

高崎市巾着屋町

近江屋號

太石井千代造商塵

(電話三百〇九番
電略イシ)

品質精良 價廉 賣
酒類 醬油 洋酒 各種

卸問屋

和洋金物

キスチ 自動紙綴器特約販賣

高崎市田町一丁目
鍋屋號
今阿部榮助商店

電話貳七一番

各國織物

卸賣商

高崎市田町四丁目
商號吉見屋

倉吉井梅次郎

(電話九番)

酒類醬油

仙臺四方味噌

櫻味噌

奈良漬

洋酒壘詰

高崎市連雀町

平野屋號

本店平野諦一郎

電話三五四番



撰津國武庫郡西灘
 醸造元 若井源左衛門
 高崎市田町
 中澤一手捌

酒類問屋

① 中澤新右門商店

電話 三百三十六番

横濱市港東区磯子町四丁目
 醸造元
 秋元巳之助
 世長 貴元 中澤新右門
 特約店 中澤新右門

米

米雜穀肥料販賣

高崎市八島町

山 横 山 支 店

横 山 省 三

(電話 四七番)

米

米

米

諸國最表花吳産

高崎市田町

傘麻細工類

詢問居号

草履之柄新一式

久

住谷喜平

塔下石流一手販賣

高松 百三十三番
振替口座 二〇一五八番

内外綿糸
染糸足袋
問屋

高崎市田町三丁号

詢問居号

久

住谷幸次郎

高松 二百五十一番
振替口座 一七一八三番

正

力

力

吳坂
太物

高崎市連雀町

萬屋号

新井興之助

札

◎ 電話 二四〇番

笑

引

力

力



硝子板問屋

營業品目

文字御注文に應ず	縁消硝子及び金銀	玻璃器	洋燈	板硝子一式	硝子用ハテ	舶來硝子切	鏡額面額縁
----------	----------	-----	----	-------	-------	-------	-------

高崎市田町一丁目

玉長硝子店

振替口座二〇六六四番
電話架設中

特色店ハルハル低價取扱送物價

明

日清通商銀行株式会社 日清通商銀行株式会社

支店 東京五反田 支店 東京五反田
支店 東京三軒丸の内 支店 東京三軒丸の内

明口運送店

電話 三三〇
番 一七二四
(〇)

電話 東京
番 〇
三三〇

高崎市田町八番馬車停

當社は年中休日なく簡便に貨物取扱致候
 當社は御需に應じ預り證券質入證券を發行致候
 當社保管貨物は總て火災保險の契約有之候
 當社は完全なる生繭乾燥所の設備有之普く御依頼に應じ申候

高崎倉庫株式會社

電話 一四二番

專務取締役	山田昌吉	監査役	清水新一郎
取締役	清水久太郎	同	小澤宗平
同	小林健吉	支配人	相川福二郎
同	石井佐二郎	相談役	茂木保平
		同	須藤清七

竹材木薪炭販賣

竹道號

井 櫻 井 八 代 吉

高崎市宮元町

陸軍御用

魚 菜
 乾 物
 雜 穀

企 栗 原 丈 吉

高崎市宮元町陸軍巽門前通り

材木商

利本多清美

高崎市南町

電話架設中

米雜穀販賣
共益依托商會

中澁澤穀店

高崎市新田町參八

電話二六七番
電略(シ)又(シフ)

酒類商

余小池三四郎

高崎市新喜町
池田屋號

(電話四百一〇番)

米穀肥料食鹽販賣

高崎市南町

織茂屋號

畚富所常次郎

電話二六三番
電畧(チ)又ハ(チリ)

疊表傘類
燐寸下駄

高崎市田町百拾壹番地

會 綠屋 合名會社 山田商店

鼻緒草履表
養蠶具

染物店
境庄三郎

高崎市相生町

電話(四一二番)

洋物
雜貨商

高崎市田町壹丁目

伊勢屋號

土橋彦五郎

郵便局筋向

唐物 太物 吳服

吉

櫻井幸次郎

電話三二一五

高崎市本町一丁目
松屋號

御祝儀もの
吳服太物
唐物蚊張

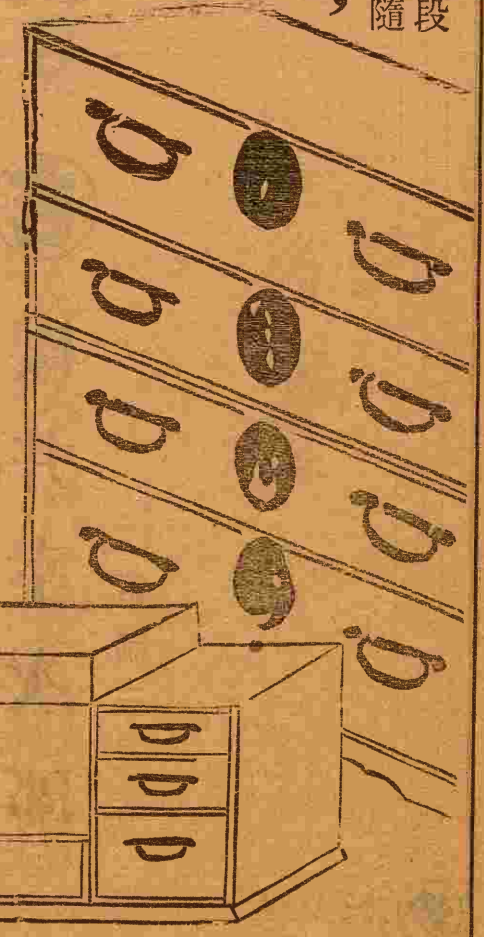
高崎市本町

久保川吳服店

電話(三十九番)

御詔京都染物御取扱申候
御進物用吳服切手調進仕候

各位益々御清榮之段
 大慶至極に奉存候隨
 而弊店儀たんとす
**火鉢其他家
 具類**等専門に
 して明治四十一年
 長野野縣主催共
 進會に於てたん
 す數種共に一
等賞銀牌を
 授與せられ今回
 本縣主催の聯合
 共進會にも數種
 出品陳列致し置
 候間御檢覽之上
 御高評之程奉希
 候



高崎市長持
 西洋馬具
 金物塗物
 製造販賣

余清水屋清吉

陳列所連雀町郵便局前

電略(シ)



の強勉る頗
 店品洋

名品賣販

洋服裁縫
 吾妻コート類各種
 インパネス、シヨール
 洋傘、帽子、靴、鞆
 毛布、ヒザ掛、敷物
 椅子、消防用帽子
 他歐米雜貨無數

町 田
郎 三 芳 屋 城 結
 番 四 十 六 百 話 電

材木商

誠實販賣

中村作太郎

高崎市新喜町



最新流行高等靴製造販賣

萬屋龜吉

附屬品一式

高崎市鞆町七拾番地

和洋綿糸

附屬品一式
卸商 青木勘之助

高崎市田町三丁目

電話 參四二番
振替口座 三一六五番

足袋類各種

和洋酒類醬油
味噌硝子新壘

正宗ベーパー
コルク類一式

尾州名古屋ノ印ヲ見テ被下度

笹田作
左衛門 勘 清酢一手捌

北越高田
本舗高橋 高橋粟飴一手

高崎市新紺屋町

今杉田忠治

電話 三百五十九番
電略 ス又ハ(スキ)

業 專 品 用 壁

營 業 品 目

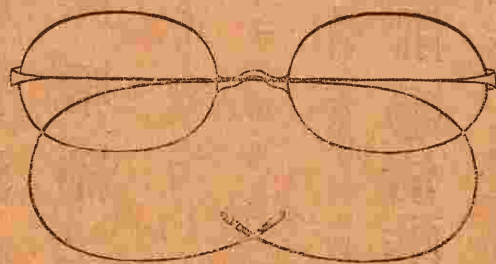
かき灰各種、野苺粉灰各種、建築用生石灰
 本のり、角又のり各種、麻った各種、
 セメント各種、松煙各種、色砂土各種
 白赤埴土の類、中塗用根古った類
 衛生用罐入生石灰
 肥料用生石灰各種

高崎市本町二丁目四拾壹番地

壁用品問屋

余 商 號 松本庄八商店
 いと庄

電略(マツ)又ハ(マ)
 電話 三三九番



袋 物 眼 鏡
 文 房 具 算 盤

高崎市九藏町

久 高木屋彦八

製材販賣

材木商

加中曾根忠太郎

高崎市弓町

乾餛飩 乾蕎麥
切素麵 冷麥麵
島田麵 三輪麵
片栗麵 其他

內外綿糸

染糸一式

機械製麵類
手引製麵類
製造本舖

小野屋號 木暮竹次郎

高崎市本町二丁目

(電話三百十八番)

小暮糸店

魚乾物

各肥料商

木高島熊吉

高崎市常盤町

(電略夕力)

洋燈硝子器類
內外石油賣買
容器麻袋

高崎市寄合町

令横内兼治郎本店

電百三十五番
電器(ヨ)

信用と勉強とは商家の秘訣

高崎市田町三丁目

吳服 卸小賣 三淺見商店

店主 淺見辨次郎

(電話三四四番)

藥

種

胃腸病之奇藥

胃病 新藥 胃 効

高崎市嘉多町貳拾六番地

淋病消渴之奇藥

淋病 新藥 淋 滅

藥種商

石川實之助

化粧用トきめなおし

ノーブル水

御遠方之御方は御一報次第御送附可申上候代金之儀は爲替でなく收入印紙を以て御送附被下候ても差支へ無之候

賣

藥

◎總ての營業品は品質の精選を要すとす◎
 調劑上の注意は慎重にして其正確を期す◎
 ○消毒用フォルマリン特約店
 藥種 賣藥問 天神堂藥局
 染料 藥劑師 因井上一之
 洋酒 屋 電話二百五十二番
 罐詰 電信畧號(イ二)
 ○消毒用苛性石灰特約店
 ◎各種の血清は常に貯藏し遺憾なきを旨とす◎
 ◎高崎市連雀町八十七番地◎

舎 佐々木金三郎

高崎市田町壹丁目八十四番地
 砂糖商三河屋

電話(一〇八番)

磐城茨城石炭各種
コークス薪炭販賣

金井石炭店

高崎市弓町百拾四番地

電話架設中
電器(カナ)

最も名譽なる履歴を有する
高等菓子舗

高崎市あら町

みやげ屋

電話二〇一

名栗製品各種

菓 子 舖

高崎市連雀町

近田喜平

米穀商

清水新一郎商店

高崎市歌川町拾六番地

電話 一二番

明治生命保險株式會社代理店

菓

子

高崎十景煎餅梅の雪 元祖

⊕ 大龜堂本店

高崎市本町二丁目湯屋横町

大塚長吉

高崎市常盤町

大龜堂支店生餡所

荒物類

疊建具

家具一式

絲杵類竝に

蠶具一式

群馬縣監獄署製造品販賣所

高崎市赤坂町六十七番地

問屋 ⊕ 寺田永四郎商店

電話 三百四十九番
電信 零號 (テラタ)

材木商

黒岩源十郎

高崎市柳川町拾八番地

製材販賣

登錄商標

最良醬油

宗

釀

丸

高崎市常盤町

河内屋號

岡宗一郎

三番

陸軍御用
海產物
委託問屋



合名會社
今勇商店

高崎市連雀町五十九番地

電話 三百三十五番
略 (〇一) 又 (〇)

和洋
砂糖 水飴 洋酒
掛菓 菓子類

商
冬
新井勘治

釜屋號

高崎市田町三丁目

電話百三十六番
略號(カマカ)

鼻緒麻裏雪駄
下駄爪掛傘類問屋
草履附屬品一式

商標
菊江屋號



武谷文七

高崎市連雀町（營門前通り）

本館
の置

高崎停車場より突當りにして電車停留場前
なれば伊香保、草津、四萬、澤渡等の各温
泉地へ弊館前より御乗車の御便利有之候

上州高崎市新町（停車場突當り）

慶雲館 旅館 信濃屋金五郎

電話百二十四番

本館
の特色

市の中央に位し至極閑靜の位置に有之食膳
に供するは専ら衛生と滋養とに注意し且つ
御取扱は懇切丁寧を專一と仕候

材木商

—營業品目—

其他 指物材 造作類一式	床板 板用	挽子	角材	榑材
其他 造作類一式	丸太類	吉野杉	柱類	板子
其他 造作類一式	廻縁竿縁	床框落掛	床柱床板	唐木黒柿
其他種々 建築用 材料一式	板類	丸太挽材	小角大角	建築材
				杉松並通

高崎市住吉町參番地 (電車通り)

古榎屋號

余 小林榮三郎

ラ
ー
ヂ
自
轉
車
群
馬
縣
代
理
店

高崎本町



木村自轉車店

電話二二二一番

確實廉價

高崎市田町



熊井吳服店

電話百〇七番

謹告

- 一 内外銃砲火藥類 各種
- 一 内外獵用附屬品 各種
- 一 護身用ピストル銃 各種
- 一 鑛山用内外ダイナマイト 各種
- 一 工業用線火藥 各種
- 一 ダイナマイト用雷管電氣管 各種
- 一 導火線 各種

高崎市鞆町八番地

導火線製造販賣
鑛山御用達



銃砲火藥
甲種御免許

商

吉澤正則

電信略號(ヨシ)

名 酒
の 玉
井

釀造本店



釀酒
造類

業 角 張 豐 吉

高 崎 市 南 町

號 金 升 屋

電 話 (三六四番)
略 (カ)

海 產 肥 料

大 豆 粕 硫 酸 安 母 尼 亞
外 國 魚 粕 過 磷 酸 肥 料
完 全 肥 料 各 種 鹽 元 賣 捌

高 崎 市 高 砂 町

釜 屋 號

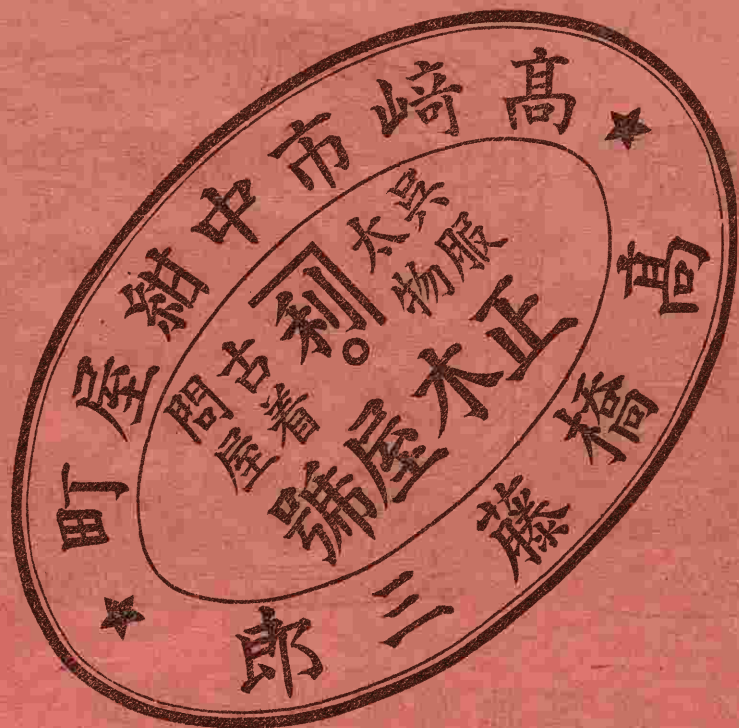


吉 田 淺 次 郎 商 店

電 話 二 百 一 拾 參 番

實

確



強

勉

紅染
專門

清水染工場
市 清水文吉

高崎市常盤町三十貳番地

酒類 醬油 洋酒 各種

販賣

田邊治郎吉

近江屋號

高崎市新田町

風味 卓越 日本酒 定評アリ

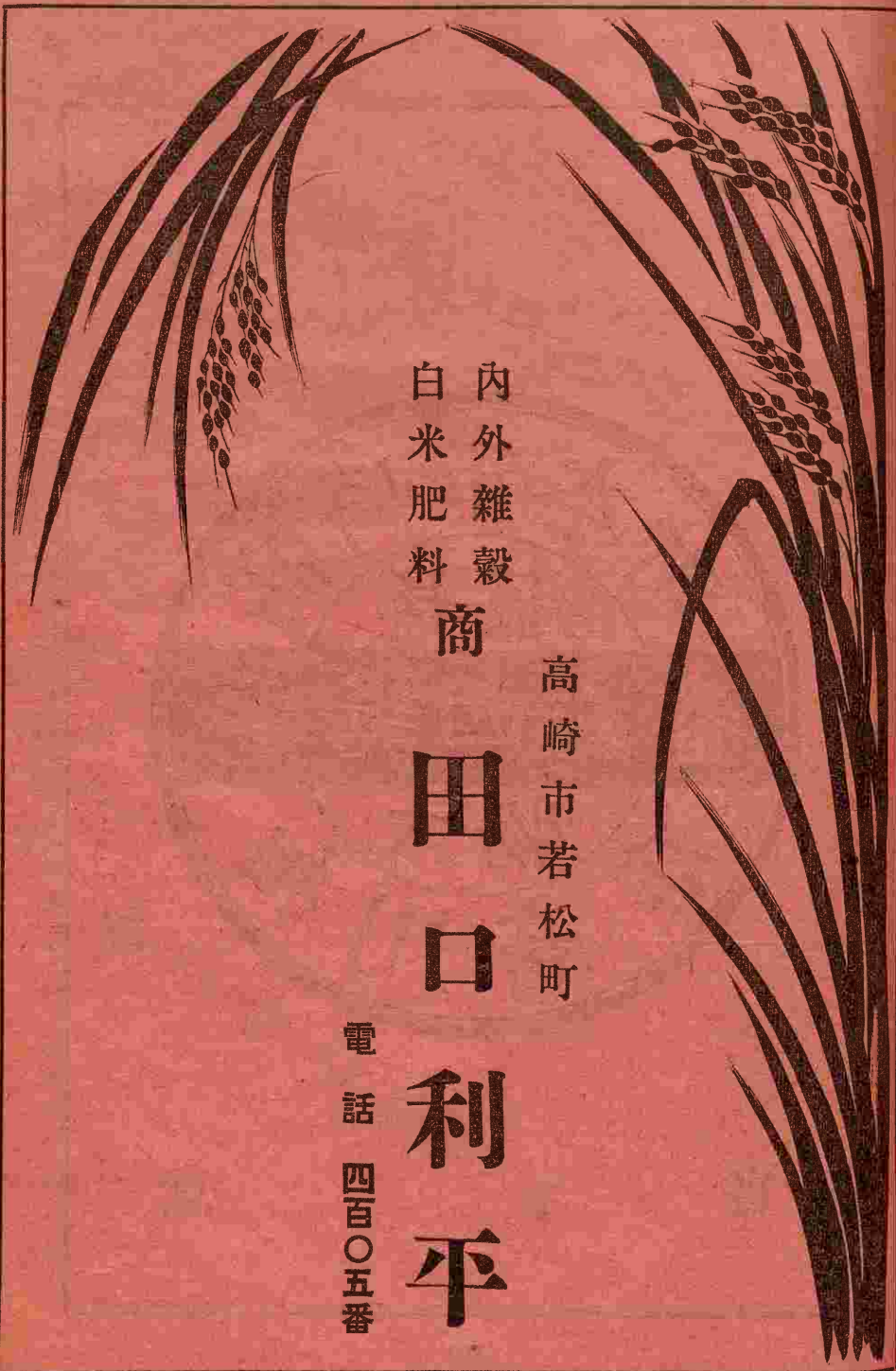


酒類醬油味噌仲買業

高崎市翰三十番地

赤澤喜治郎商店

電話四百〇一番



内外雜穀
白米肥料

商

田口利平

高崎市若松町

電話 四百〇五番

貨物運送代金取立及立換金其他運送業附屬一般の業務懇切に御取扱
可申上候

上州高崎市停車場前

△ 信永運送店

電話 一四番

信越線飯塚停車場前

△ 信永店荷扱所

社員 小島彌平

擔當社員 淺井新九郎

同 山田永五郎

同 齋藤荒次郎

當店入庫品の保險契約は横濱火災及大倉組保險部に御座候

吉

傘
は
き
物

浅川商店

松屋號

高崎市本町一丁目

流行新形品各種

確

誠



實

意

販賣品課目

和漢洋藥種
 各國有名賣藥
 理化學用諸器械
 醫科用諸器械
 理化學用量器
 洋酒罐詰類

各國染料各種
 ベンキコールタル
 塗料一式
 工業藥品一式
 諸大醫處方調劑

藥種
 染料

卸問屋

相澤吉平商店

高崎市田町五拾五番地

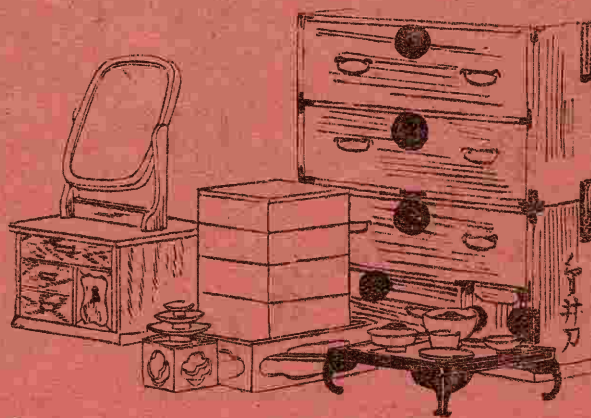
電話 百二十三番
 振替口座東京二〇五二二番

塗物タンス類製造元



天田梅太郎

高崎市田町



材木商

高崎市宮元町

營業品目

櫟杉材
柰材
各種

可日野原貢

染色

高崎市大橋町橋際



萬染張物調進所

保險

商號近江屋濱村幸吉

營業種目

足袋 シヤツ 股引 腹掛
メリヤス類 ゴム底足袋
革底足袋 各種風呂敷類
コール天 黑白朱子足袋



卸 小賣 商

高崎市本町貳丁目

藤屋號

今井吉太郎

古書専門店
名雲書店

高崎市八千代町1-8-3
電話 0273 (23) 0301

¥

6,500

8500

群馬県立図書館



0238197-8

9 群馬県立
図書館